

アナログ IP エンコーダ

取扱説明書

HIE-S501



HYTEC INTER Co., Ltd.
第 1 版











安全上のご注意

この取扱説明書には、「アナログ IP エンコーダ（以下本機）」を安全にお使い頂く為の注意事項が示されています。常に高度な安全を確保するために、以下の点に注意されたうえでご利用頂きますよう、お願い申し上げます。尚、本書は HIE-S501 のマニュアルです。ファームウェアバージョンは、

5.1.2.0(43185)で作成しています。

- 本機の機能を最大限に発揮するために、この取扱説明書をお読みのうえ、基本的な操作を習得してください。
- いざという時の為に、この説明書を分かり易い場所に大切に保管してください。
- 操作などに関して不明な点がございましたら、ハイテクインター株式会社カスタマーサポートまでご質問ご相談ください。
- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

安全にご使用頂くために

 警告	改造、分解、修理をしない 火災、感電、漏電、けがの原因となることがあります。 
	水に濡らさない 本機内部モジュールが水に濡れると故障の原因となります。 
	本機内部に異物を入れない 金属や燃えやすいものが内部に入ると、故障、火災、感電の原因となります。 
	電源コードやケーブルを傷つけない 重いものを載せたり、はさんだりするとコードやケーブルが傷つき火災や感電の原因となります。 
	電源コードやケーブルに熱器具を近づけない コードやケーブルの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。 
 注意	お手入れの際は、電源コードやケーブルを抜く 抜かないままお手入れすると、感電の原因となることがあります。 
	異常が発生したら、すぐに使用を中止して連絡する 煙や匂いなどの異常を感じたり、機器故障の場合は、ただちに使用を中止しハイテクインター株式会社カスタマーサポートへご連絡ください。 
	低温で使用する時のご注意 0℃以下でバッテリー運用するときはバッテリー性能が一時的に低下して運用時間が短くなることがあります。 

お手入れについて

- 日常のお手入れは、やわらかい乾いた布で拭いてください。機器本体の汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤をつけた布を固く絞ってから拭いてください。酸性洗剤、塩素系洗剤、シンナー、ベンジンは使用しないでください。
- 殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

ご使用に際してのご承諾事項

■お客様管理について

- お客様の設備（お客様のネットワークおよびパソコンを含むネットワーク上の機器、以下同じ）の保守・管理および設備は、すべてお客様の責任で行っていただきます。
- 本機を利用するにあたって必要なネットワーク環境などについては、お客様の責任とご負担でご用意してください。ネットワーク接続にかかる通信費用はお客様のご負担となります。
- お客様のネットワークやパソコンのセキュリティ対策は、すべてお客様の責任で行っていただきます。
- 第三者の不正使用などにより損害が発生したり、第三者との間でトラブルが発生しても、ハイテクインター株式会社は一切責任を負わないものとします。

■本機のご使用について



- お客様の通信環境、ネットワークの使用状況により、映像が途切れたり、表示できない場合があります。

著作権について

- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

■取扱説明書について

- 本書に記載の内容および仕様などは、予告なく変更することがあります。
- 本書で使用するマークは下記の通りです。

 ご注意	操作するうえで、守って頂きたい内容や注意事項を示します。
 補足	操作・設定の際の補足事項を示します。

目次

1. はじめに	7
1-1 製品概要	7
1-2 特徴	7
1-3 監視アプリケーション	8
2. 各部の名称と役割	9
2-1 前面	9
2-2 背面	10
2-3 側面	11
3. ネットワーク接続	12
3-1 LAN	12
3-1-1 IP-Tool によるアクセス	12
3-1-2 IE (Internet Explorer) による直接アクセス	14
3-2 WAN	15
3-2-1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	15
3-2-2 PPPoE によるアクセス	16
3-2-3 静的 IP によるアクセス	17
4. ライブ画面	18
5. 設定ホーム	20
5-1 システム	20
5-1-1 基本情報	21
5-1-2 日付と時間	21
5-1-3 ローカル設定	23
5-1-4 ストレージ	24
5-2 画像設定	30
5-2-1 画像調整	30
5-2-2 ビデオ/音声	33
5-2-3 OSD	35
5-2-4 ビデオマスク	36
5-2-5 ROI 設定	37
5-3 アラーム	38
5-3-1 モーション検出	38
5-3-2 異常	46
5-3-3 アラーム入力	50

5-3-4	アラーム接点出力	53
5-3-5	アラームサーバ	55
5-4	イベント	56
5-4-1	物体検知（物体出現・消失検知）	57
5-4-2	妨害検知	60
5-4-3	ラインクロス（ライン超え検知）	62
5-4-4	領域に入る（エリア侵入検知）	66
5-4-5	領域を出る（エリア退出検知）	70
5-4-6	ターゲットカウント（ライン通過カウント）	74
5-4-8	エリア侵入検知（エリア内活動検知）	83
5-4-9	顔検出	87
5-4-10	ヒートマップ	93
5-5	ネットワーク	96
5-5-1	TCP/IP	97
5-5-2	ポート	100
5-5-3	サーバ	101
5-5-4	ONVIF	102
5-5-5	DDNS	103
5-5-6	SNMP	106
5-5-7	802.1X	109
5-5-8	RTSP	110
5-5-9	RTMP	111
5-5-10	UPnP	112
5-5-11	Email	113
5-5-12	FTP	116
5-5-13	HTTP POST	118
5-5-14	HTTPS	119
5-5-15	QoS	122
5-5-16	TS Multicast	123
5-6	セキュリティ	124
5-6-1	ユーザー	124
5-6-2	オンラインユーザー	128
5-6-3	ブロックと許可リスト	129
5-6-4	セキュリティ管理	130
5-7	メンテナンス	133
5-7-1	バックアップと復元	134

5-7-2	再起動	136
5-7-3	アップグレード	137
5-7-4	操作ログ	138
6.	チャート	139
6-1	ターゲットカウント	139
6-2	ヒートマップ	141
6-3	地域統計	142
7.	検索	144
7-1	録画検索	145
7-1-1	ローカル録画（動画）	145
7-1-2	SD カード録画（動画）	146
7-2	画像検索	148
7-2-1	ローカル画像（静止画）	148
7-2-2	SD カード画像（静止画）	149
8.	製品仕様	150
9.	Q&A	152
10.	製品保証	154

1. はじめに

1-1 製品概要

本機は、アナログHD（HD-TVI/CVI/AHD）とCVBS入力に対応した、IPエンコーダです。

従来のアナログカメラ（CVBS）や最新のアナログHDカメラの映像をIP化することができます。

また、ディープラーニング推論エンジンによる「顔」「人間」「車両」の認識機能を搭載しており、アナログカメラの映像から、人物・車両・顔を検出し、異常な行動や不正な侵入をリアルタイムで検知し、迅速に通知することができます。

1-2 特徴

- (1) アナログHD(HD-TVI/CVI/AHD)とCVBS(NTSC/PAL)入力に対応しています。
- (2) 最大 5Mpix までのアナログHDカメラに対応しています。
- (3) PoE 給電に対応しており、PoE 対応機器からLANケーブルを経由して電源供給が可能です。
- (4) 2タイプのストリーミング(H.264 or H.265/MJPEG)配信機能を装備しています。
- (5) H.264 はもちろん、更に圧縮率を高めた H.265/H.265+に対応しています。
- (6) ディープラーニング推論エンジンによる「人間」「車両」「顔」の検出が可能です。
- (7) 多彩なスマート検知機能やカウント機能に対応しています。
- (8) Youtube Live に配信が可能な、RTMP プロトコルに対応しています。
- (9) Micro SD カードへの録画が可能です。録画スケジュールの設定も可能です。
- (10)COC(Control over Coax)に対応していますので、同軸ケーブルを通してカメラ OSD メニューの操作が可能です。
- (11)さまざまな外部 I/F を装備しています。（アラーム入出力、音声入出力）
- (12)+12V 出力端子を装備しており、カメラに電源を供給することができます（最大 700mA）
- (13)モーション検知、妨害検知、プライバシーマスク機能、メール送信機能、DDNS 等、豊富な機能をサポートしています。

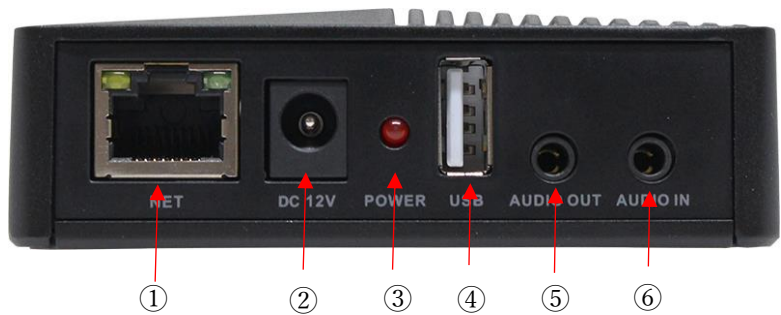
1-3 監視アプリケーション

以下のようなシステム構成を組むことができます。



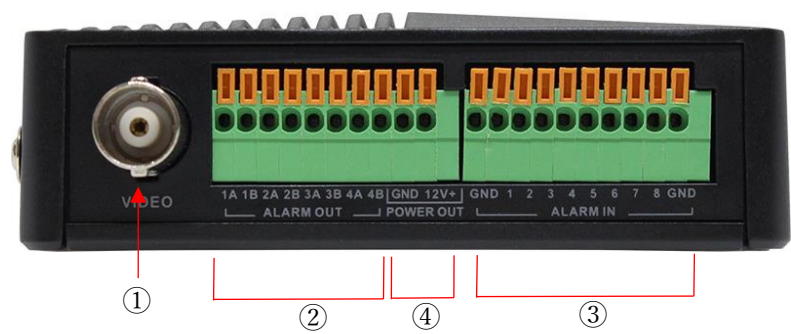
2. 各部の名称と役割

2-1 前面



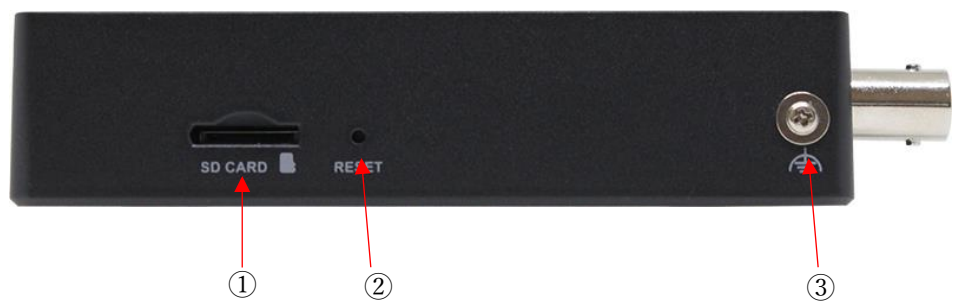
項目	名称	機能
①	NET(PoE)	本機をネットワークに接続します。(10Mbps/100Mbps) PoE 対応機器と接続し、LAN ケーブル経由で電源を供給します。
②	DC12V IN	DC12V を入力します。 ※PoE 給電時は接続不要です。
③	PWR(LED)	電源入力中に点灯します。(赤色)
④	USB	USB2.0 インターフェース
⑤	AUDIO OUT	Line レベルの音声を出力します。
⑥	AUDIO IN	Line レベルの音声を入力します。

2-2 背面



項目	名称	機能
①	VIDEO IN	アナログ映像信号を入力します。(AHD/TVI/CVBS)
②	ALARM OUT	ALARM OUT : 接点 4 点の出力
③	ALARM IN	ALARM IN : 接点 8 点に入力
④	DC+12V OUT	DC12V を出力します。

2-3 側面



項目	名称	機能
①	SD CARD	メモリーカード（Micro SD/SDHC/SDXC）をスロットに挿入します。 設定メニューのシステム→ストレージと進み SD カードのフォーマットや録画設定を行います。
②	RESET	デフォルト設定に復元します。5 秒間長押しします。
③	GND 端子	本機をグラウンドに接続したいときに使用するネジです。

3. ネットワーク接続

本機は LAN または WAN 経由で接続します。詳細は次の通りです。


3-1 LAN

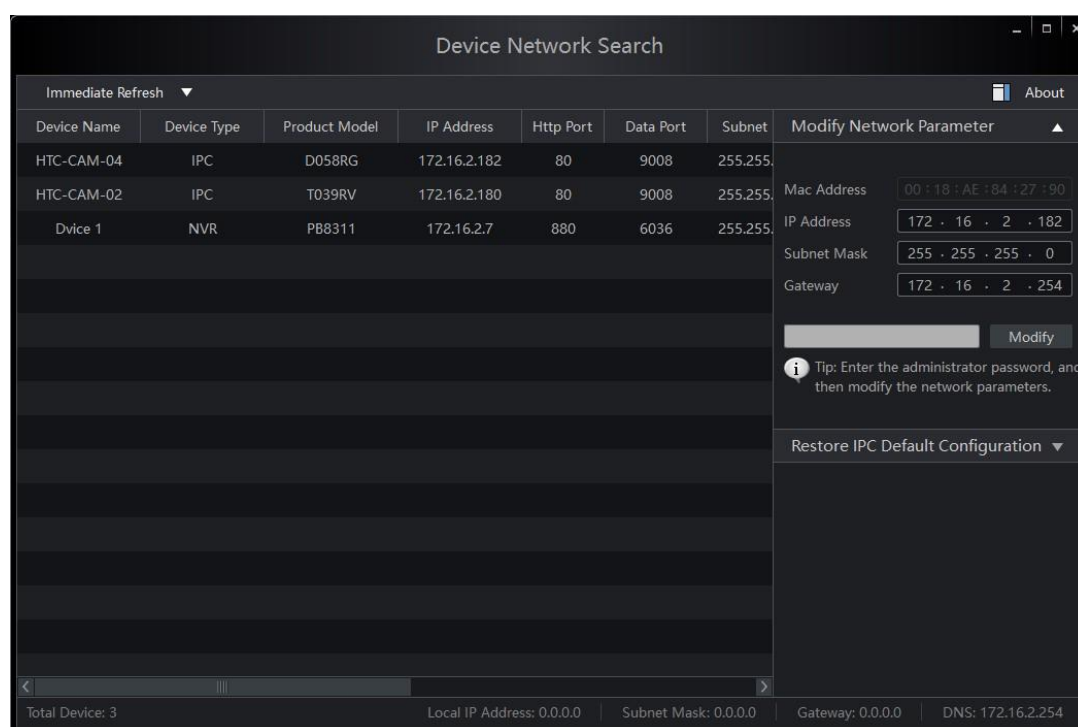
LAN では、本機のアクセス方法は 2 つあります。

3-1-1 IP-Tool によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① 付属 CD から IP-Tool を PC(コンピュータ)にインストールします。
- ② 本機と PC が LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコン  をダブルクリックすると、以下の画面を表示します。



- ④ IP-Tool では IP アドレスを変更することが出来ます。IP-Tool を起動してしばらくすると本機の IP アドレスが表示されます。本機のデフォルト IP アドレスは「192.168.226.201」です。リストをクリックすると、右側にネットワーク情報を表示します。ネットワークアドレスが PC のローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、本機の IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、本機の IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、本機の管理者パスワードを入力し、「Modify」ボタンをクリックして変更します。

管理者のデフォルトパスワードは “123456” です。

- ⑤ デバイスをダブルクリックすると、IE（Internet Explorer）ブラウザがポップアップして本機に接続します。指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。PC の設定によっては、IE ブラウザ以外のブラウザが起動することがありますが、IE ブラウザを使用してください。

名前とパスワードを入力して、言語は日本語を選択し、ログインをクリックします。

初期値の名前は “admin” 、 初期値のパスワードは “123456” です。

3-1-2 IE (Internet Explorer) による直接アクセス

初めて本機にアクセスするときは、以下のアドレスを使用してください。(初期値)

IP アドレス : 192.168.226.201 サブネットマスク : 255.255.255.0
 ゲートウェイ : 192.168.226.1 HTTP ポート : 80
 データポート : 9008

LAN ケーブルを使用して、本機と PC を直接接続します。



- ① 本機と同じネットワークセグメント (192.168.226.xxx) に PC の IP アドレスを手動で設定します。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプタの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。(例 : Windows10)
- ② イーサネットのプロパティから「インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し「OK」をクリックします。
- ③ IE ブラウザを開き、アドレスバーに本機のデフォルト IP アドレスを入力します。



- ④ 指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。
- ⑤ 名前とパスワードを入力して、言語は日本語を選択し、ログインをクリックします。

初期値の名前は **“admin”**、初期値のパスワードは **“123456”** です。

The screenshot shows the login interface for the 'webcam' system. On the left is a large circular graphic with a camera lens and city skyline. On the right is the login form with the following fields and options:

- 名前 (Name): Text box containing 'admin'
- パスワード (Password): Text box with placeholder 'パスワードを入力してください'
- ストリーム形 (Stream Format): Dropdown menu set to '1920x1080 10fps'
- 言語 (Language): Dropdown menu set to '日本語'
- ☐ パスワードを覚える (Remember password)
- ログイン (Login): Blue button

3-2 WAN

WAN では、本機のアクセス方法は 2 つあります。

3-2-1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① 本機がローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でログインします。
- ② 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ ポートメニューに移動して、ポート番号を設定します。

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>									
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>									
データポート	<input type="text" value="9008"/>									
RTSPポート	<input type="text" value="555"/>									
<input type="button" value="保存"/>										

- ③ 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ TCP/IP メニューに移動して、IP アドレスを設定します。「以下の IP アドレスを使用してください」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使用してください			
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/> <input type="button" value="テスト"/>		
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
優先DNSサーバー	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
代替DNSサーバー	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

- ④ WAN 経由で通信する場合は、ルータにポートフォワーディングの設定を追加する必要があります。
- ⑤ ルータのポートフォワーディング設定後、IE ブラウザを開き、WAN IP と HTTP ポートを入力して本機にアクセスすることが出来ます。例：<http://xxx.xxx.xxx.xxx:80>

3-2-2 PPPoE によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ ポートメニューに移動して、ポート番号を設定します。

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>									
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>									
データポート	<input type="text" value="9008"/>									
RTSPポート	<input type="text" value="555"/>									
<input type="button" value="保存"/>										

- ② 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ TCP/IP ⇒ PPPoE 設定メニューに移動して、「有効」にチェックを入れます。インターネットサービスプロバイダ(ISP)から提供されたユーザ名とパスワードを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="checkbox"/> 有効			
ユーザ名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="text"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

- ③ 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ DDNS 設定メニューに移動します。DDNS を設定する前に、事前に「ドメイン名」を申請しておきます。詳細は「5.6.4 DDNS 設定」を参照してください。
- ④ IE ブラウザを開き、ドメイン名と HTTP ポートを入力して本機にアクセスすることが出来ます。

3-2-3 静的 IP によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ ポートメニューに移動して、ポート番号を設定します。

ポート	サーバー	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>									
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>									
データポート	<input type="text" value="9008"/>									
RTSPポート	<input type="text" value="555"/>									
<input type="button" value="保存"/>										

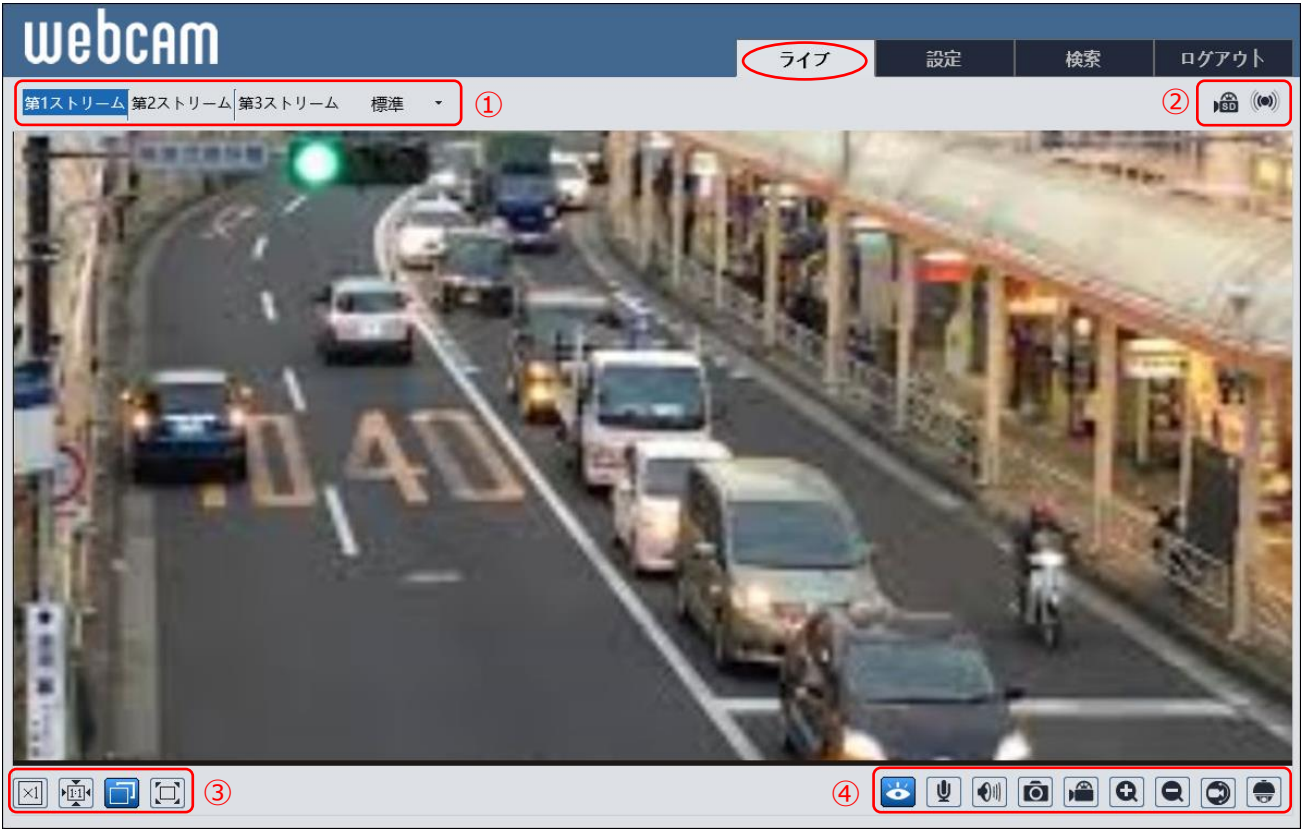
- ② 設定 ⇒ ネットワーク ⇒ TCP/IP メニューに移動して、IP アドレスを設定します。「以下の IP アドレスを使用してください」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使用してください			
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>		<input type="button" value="テスト"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
優先DNSサーバー	<input type="text" value="192.168.226.1"/>		
代替DNSサーバー	<input type="text" value="8.8.8.8"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

- ③ IE ブラウザを開き、WAN IP と HTTP ポートを入力して本機にアクセスすることが出来ます。 例：
http://xxx.xxx.xxx.xxx:80

4. ライブ画面

右上の“ライブ”タブをクリックするとライブ映像を表示します。



ライブ画面①の操作

ライブビューのストリームを選択できます。第 1 ストリーム 第 2 ストリーム、第 3 ストリームから選択します。それぞれのストリーム設定は「5.2.2 ビデオ/音声」を参照して設定します。

配信方法を選択します。

即刻：リアルタイム配信、標準：バランス配信、流畅：スムーズ配信

ライブ画面②の表示

アラームなどの表示をします。

アイコン	説明	アイコン	説明
	動体アラームを表示 ※1		センサーアラームを表示

※1 動き検出を有効に設定すると表示されます。動きを検出するとアイコンが赤く点滅します。

ライブ画面③の操作

画面サイズを選択できます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	オリジナルサイズ		適切なサイズ
	ウィンドウのサイズを合わせる		フルスクリーンモード ※2

※2 フルスクリーンモードの終了方法は、マウスで画面上をダブルクリックするか、キーボードの ESC キーを押します。

ライブ画面④の操作

各種機能のオン/オフ操作

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		アラーム接点出力のオン/オフ
	オーディオ出力のオン/オフ(調整)		スナップショット (Local 保存)
	顔検出 ※4		ズームイン (デジタルズーム)
	ズームアウト (デジタルズーム)		COC (Coax Over Control) ※3
	ルール情報		

※3 COC に対応したカメラの場合、■をクリックするとカメラの設定メニューを表示することができます。▲▼◀▶でメニューの選択、変更、確定ができます。

※4 顔認識機能対応のカメラの場合使用出来ます



※本機にアクセスしたとき、Active X のインストールを促すメッセージが表示されることがあります。Active X をインストールしないと、画像を表示することができません。インストールするときは IE ブラウザを閉じます。もしインストールに失敗したときは再アクセスして、Active X のインストールをやり直します。



※IE (Internet Explorer) ブラウザは必ず管理者として起動して操作して下さい。

管理者権限の起動方法は「5-7-3 アップグレード」を参照してください。

管理者として起動しないとスナップショット画像やビデオ映像がローカル設定で指定したフォルダに保存されても検索できません。

5. 設定ホーム

右上の“設定”タブをクリックすると設定メニューを表示します。



5-1 システム

システムを選択すると以下の画面になります。ここでは、基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージ、4つのサブメニューがあります。



5-1-1 基本情報

本機の基本情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 基本情報	
デバイス名	IPC
モデル名	H041PA
ブランド	Customer
ソフトウェアバージョン	5.1.2.0(43185)
ソフトウェア作成日	2023-03-17
Onvifバージョン	22.06
MAC	00:0f:3a:a7:61:48

5-1-2 日付と時間

本機の日付と時間の設定をします。

➤ タイムゾーン

“ゾーン”タブを開き、タイムゾーンと DST の設定をします。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間	
タイムゾーン	日時合わせ
タイムゾーン	GMT (Dublin, Lisbon, London, Reykjavik) ▼
<input type="checkbox"/> サマータイム	
<input checked="" type="radio"/> 自動サマータイム	
<input type="radio"/> 手動サマータイム	
開始時間	1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間
終了時間	2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間
オフセット時間	120 分 ▼
保存	

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09(Osaka, Sapporo, Tokyo)」です。
DST(daylight saving time)	DST にチェックを入れると、サマータイムが有効になります。



➤ 日時設定

“日時”タブを開き、日付と時刻の設定をします。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

タイムゾーン 日時合わせ

日時調整モード

☐ NTPサーバに同期

NTPサーバ: time.windows.com 更新間隔 1440 分

☒ パソコンの時間に同期

日付 2023-11-24 時間 14:14:13

☐ 手動で設定

2023-11-24 05:14:00

時間形式 24時間

保存

日付と時刻の設定方法は 3 つあります。

- **NTP**

NTP サーバから正しい時刻情報を取得して時間校正をします。

「NTP 時間校正」を選択して NTP サーバのアドレスと更新間隔を入力します。

- **パソコンと時間同期**

パソコンの時間と自動的に同期を取り時間校正をします。

「パソコンと時間同期」を選択します。

- **手動**

手動で時間を校正します。

「手動」を選択します。📅をクリックして、カレンダーから日付を選択し、時間を入力します。

5-1-3 ローカル設定

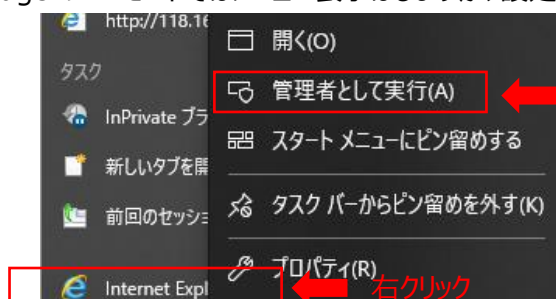
ローカル PC の写真・録画ファイルの保存先などを設定します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ローカル設定

静止画保存のパス	<input type="text" value="C:\Program Files\NetAllIPCamera"/>	<input type="button" value="保存先変更"/>
録画保存のパス	<input type="text" value="C:\Program Files\NetAllIPCamera"/>	<input type="button" value="保存先変更"/>
録画音声の設定	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ビットレートを表示	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ローカルスマート静止画保存ストレージ	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	

表示	説明
静止画保存のパス ※注意	スナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画保存のパス ※注意	録画ビデオを PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画音声の設定 ※注意	録画ビデオと同時に音声を録画するかを指定します。 注 マイク付きのカメラのみ録音可能です。
ビットレートを表示	保存した画像やビデオファイルにビットレート表示させるか、有効(ON)または無効(OFF)を設定します。
ローカルスマート静止画保存ストレージ ※注意	スマート検知で撮影したスナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。

※注意 この項目は、Internet Explorer を使ったとき表示します。Internet Explorer は必ず管理者権限で起動してください。Edge の IE モードではメニュー表示はしますが、設定を保存できません。



※Edge、Chrome、Firefox でアクセスした場合、「ビットレートを表示」の項目のみ表示します。

5-1-4 ストレージ

本機に取付けた SD カードの状態確認と録画ストリームを設定します。

管理

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理

録画

写真撮影

USBディスク

写真保存領域のサイズ

5700 MB

残りの写真保存容量

5699 MB

録画保存領域のサイズ

51264 MB

残りの録画容量

51008 MB

状態

正常

写真保存領域

10

%

録画保存領域

90

%

割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは削除されます。

カード取り出し

フォーマット

表示	説明
総画像容量	SD カードのスナップショット用フォルダの総容量を表示します。
残りの写真保存容量	SD カードのスナップショット用フォルダの残容量を表示します。
録画保存領域のサイズ	SD カードの総容量を表示します。
残りの録画容量	SD カードの残容量を表示します。
状態	SD カードのステータスを表示します。
写真保存領域	SD カードの容量のうち何%をスナップショット用に割り当てるか設定します。
録画保存領域	SD カードの容量のうち何%を録画映像用に割り当てるか設定します。
フォーマット	このボタンをクリックして、SD カードのフォーマットをします。SD カードに保存されているすべてのスナップショットと録画映像が消去されます。

➤ 録画

ビデオ映像録画時のストリーム選択とプリ録画、録画スケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 録画 写真撮影 USBディスク

録画パラメータ

録画ストリーム 第1ストリーム

プリ録画時間 プリ録画時間なし (H264,H265,MJPEG)

上書きする はい

設定された時間で実行

☒ スケジュール記録有効

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00 手動入力																								
月	00:00-24:00 手動入力																								
火	00:00-24:00 手動入力																								
水	00:00-24:00 手動入力																								
木	00:00-24:00 手動入力																								
金	00:00-24:00 手動入力																								
土	00:00-24:00 手動入力																								

休日設定とスケジュール

日付 11-24 + -

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00 手動入力

保存

● 録画パラメータ

表示	説明
録画ストリーム	録画時のストリーム(第 1 /第 2 /第 3)を選択します。
プリ録画時間	事前記録なし (プリ録画なし) 、3 秒 (プリ録画あり) 、6 秒 (プリ録画あり) から選択します。 3 秒または 6 秒を選択すると検知する 3 秒または 6 秒前からプリ録画を開始します。
上書きする	上書き録画を設定します。

- **定時**

録画スケジュールを設定することができます。

録画したいときは「スケジュール記録有効」にチェックを入れます。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯は録画します。）録画しない時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法 2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

- **休日設定とスケジュール**

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。

複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「+」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「-」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。

➤ スナップショット

スナップショット画像を保存するパラメータ、スケジュールを設定します。

管理

録画

写真撮影

USBディスク

写真撮影パラメータ

画像フォーマット

JPEG

解像度

704x480

画質

低い

イベント発生に連動

スナップショット間隔

1

秒

撮影枚数

5

設定された時間で実行

☐ 有効にする

スナップショット間隔

5

秒

☐ 削除

☒ 追加

一週間の日程

日

00:00-24:00

手動入力

月

00:00-24:00

手動入力

火

00:00-24:00

手動入力

水

00:00-24:00

手動入力

木

00:00-24:00

手動入力

金

00:00-24:00

手動入力

土

00:00-24:00

手動入力

休日設定とスケジュール

日付

11-24

+

-

00:00-24:00

手動入力

保存

- 写真撮影パラメータ

表示	説明
画像フォーマット	JPEG 固定
解像度	704×480 固定
画質	高い、中、低い から選択します。

- イベント発生に連動

動き検出やラインクロッシングなどが有効に設定されており、SD カード画像トリガーにチェックが入っていると静止画像を取得できます。

表示	説明
スナップショット間隔	設定した時間間隔で静止画像を取得します。
撮影枚数	設定した枚数の静止画像を取得します。

- 設定された時間で実行

使用する際は「有効にする」にチェックを入れてください

表示	説明
スナップショット間隔	設定した時間間隔で静止画像を取得します。

● 定時

定期的に静止画像を取得するスケジュールを設定することができます。

スケジュールを有効にするときは「タイミング・スナップショットを有効にする」にチェックを入れます。次に、静止画像を取得する間隔を入力します。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯は画像取得します。）画像取得しない時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法 2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

● 休日

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。

複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

5-2 画像設定

画像設定を選択すると以下の画面になります。ここでは、画像調整、映像/音声、OSD、プライバシーマスク、ROI構成、5つのサブメニューがあります。



5-2-1 画像調整

➤ カメラのパラメータ

輝度、コントラスト、色相など画質を調節します。

“初期値”をクリックすると初期設定に戻り、“取り消し”をクリックすると直近で入力した設定がリセットされます。



・ビデオ調整

画像左右反転(ON,OFF)、画像反転(ON,OFF)画像の調整が出来ます。

表示	説明
撮影設定	調整した設定値を通常、昼間、夜で 3 つ保存できます。
輝度	画像の明るさを調節します。 設定範囲 (0-100)
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの差を調節します。 設定範囲 (0-100)
色相	画像の色合いを調節します。 設定範囲 (0-100)
彩度	色彩の数値を調整します。 設定範囲 (0-100)
WDR	WDR を ON にしていただくことにより、暗く映っている部分を明るく見やすくする機能です 設定範囲 (0-255)
シャープネス	画像の輪郭を強調するときに調整します。調整する前にシャープネスにチェックを入れて有効にします。 設定範囲 (0-255)
ノイズ減少	ノイズを減らして見た目を良くするために調整します。調整する前にノイズ減少にチェックを入れて有効にします。値を大きくすると、ノイズの減少が大きくなりますが、解像度が低下します。 設定範囲 (0-255)
ビデオ調整	画像左右反転(ON,OFF)、画像反転(ON,OFF)画像の調整が出来ます。



※CVBS 信号では、エンコードした映像の動きのある部分にギザギザが発生します。これは、CVBS がインターレース方式のためです。本機はデインターレース機能に対応していないため、ギザギザを除去することはできません。

➤ プロファイル管理

● フルタイム（24 時間同じカメラパラメータを使用）

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ プロファイル管理

スケジュール選択 24時間連続

撮影設定 常時

保存

● 定時（スケジュールでカメラパラメータを自動切換）

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ プロファイル管理

スケジュール選択 設定された時間で実行

時間範囲

0:00 4:00 8:00 12:00 16:00 20:00 24:00

■ 昼 ■ 夜

保存

表示	説明
スケジュール	[24 時間連続]と[設定された時間で実行]から選択します。 [設定された時間で実行]を選択するとスケジュール設定する画面に切り換わります。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

5-2-2 ビデオ/音声

画像やオーディオの配信に関する設定をします。

▶ ビデオ

第 1～第 3 ストリームの解像度やフレームレートの設定をします。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

ndex	ストリーム	解像度	フレーム	ビットレー	ビットレート	ビデオ品質	iフレーム間	ビデオ圧縮	プロファイル
1	第1ストリーム	1920x1080 ▼	15	VBR ▼	2048 ▼	より高▼	60	H265 ▼	High Profile ▼
2	第2ストリーム	1280x720 ▼	30	VBR ▼	1024 ▼	より高▼	60	H265 ▼	High Profile ▼
3	第3ストリーム	704x480 ▼	15	CBR ▼	256 ▼	より高▼	60	H265 ▼	High Profile ▼

写真のストリーム 第2ストリーム ▼ サイズ (1280x720)

☐ ビデオエンコードスライス分割

☐ ウォーターマーク (H264、H265のみをサポート) ウォーターマーク文字

保存

表示	説明	
解像度	第 1 ストリーム	1920x1080、1280x720、704x480
	第 2 ストリーム	1280x720、704x480、352x240
	第 3 ストリーム	704x480、480x240、352x240
フレームレート	フレームレートを設定します。 1 秒間あたりの映像の枚数を設定します。枚数が多いほど動きが滑らかになります。1～30fps	
ビットレートタイプ	VBR または CBR を選択します。 VBR：可変ビットレート、CBR：固定ビットレート	
ビットレート	CBR を選択したときプリセットされているビットレートを選択。 または手動でビットレートを入力します。 数値が大きいほど映像の破綻が少なくなりますが、データ量が増えるためネットワークへの負担が重くなります。	
ビデオ品質	VBR を選択したときビデオ品質が選択できるようになります。 品質を高くすると、データ量が増えるためネットワークへの負担が重くなります。	
i フレーム間隔	何フレーム間隔で i フレームを送るか設定します。	
ビデオ圧縮	映像の圧縮方式を H.264/H.265/H.264 + /H.265 + /MJPEG から選択します。	

プロフィール	圧縮方式で H.264 を選択したとき、Base Line、Main Profile、High Profile から選択します。
スナップショット	イベント発生時に送信する、スナップショットの枚数を設定します。画像サイズは 352x240 に固定されています。
ビデオエンコードスライス分割	チェックを入れると有効になります。 低性能の PC を使用した場合でも滑らかな画像を表示します。
ウォーターマーク (H264、H265)	チェックを入れると有効になります。 検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生するときにウォーターマークを表示できます。
ウォーターマーク文字	ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。



※本機を動作状態にしたままで、カメラの入力信号を OFF/ON すると、ビデオ圧縮方式以外の設定値は初期値に戻りますので、カメラの交換作業や電源設備の点検などを行う場合はご注意ください。初期化された場合は、改めて設定しなおしてください。先にカメラの電源を投入してカメラが起動した後に本機の電源を投入することで、設定値は保持されます。

➤ オーディオ

音声コーデックの設定をします。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 **音声**

☒ 有効

音声形式 G711A

音声タイプ LIN

LINボリューム 100

音声出力音量 100

保存

表示	説明
音声形式	音声コーデックを G.711A または G.711U から選択します。
音声タイプ	音声入力を MIC または LINE から選択します。

5-2-3 OSD

カメラ画像に表示させる文字（OSD : On Screen Display）を設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ OSD



日付形式

YYYY-MM-DD

☒ 日付時刻を画面表示する

デバイス名

S501

☒ デバイス名を画面表示する

☐ 追加OSD1

☐ 1行追加

☐ 追加OSD2

☐ 1行追加

☐ 追加OSD3

☐ 1行追加

☐ 追加OSD4

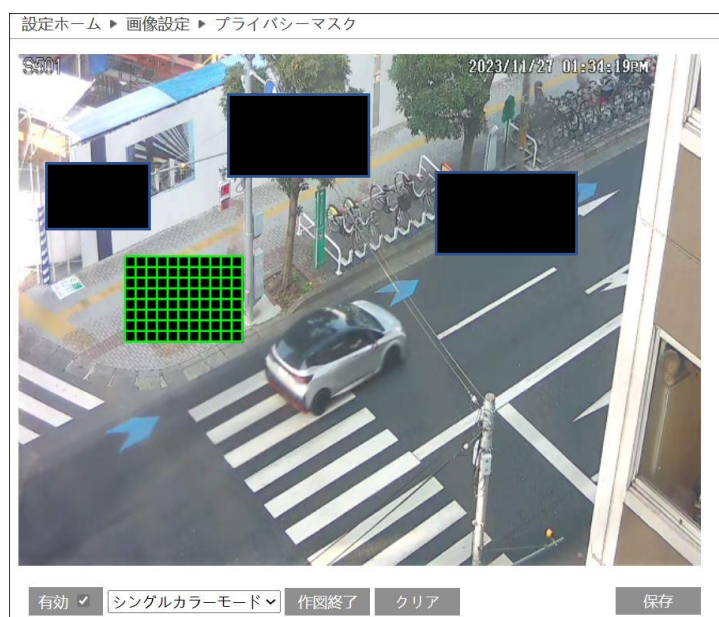
☐ 1行追加

保存

表示	説明
日付形式	「タイムスタンプ表示」にチェックを入れ、OSD を有効にします。 年月日の表示形式を選択すると、ディスプレイ上に日付を表示します。表示位置は、赤色の文字をドラッグ＆ドロップして移動します。(時間は最後尾に表示) 《 YYYY : 年、MM : 月、DD : 日 を表します 》
デバイス名	「デバイス名表示」にチェックを入れ、OSD を有効にします。 デバイス名を入力すると、ディスプレイ上にデバイス名を表示します。表示位置は、赤色の文字をドラッグ＆ドロップして移動します。
OSD 自己定義	日付時間とデバイス名以外に追加したい文字を設定できます。 OSD 自己定義にチェックを入れて有効にします。 文字列を入力するとディスプレイ上に追加した文字を表示します。表示位置は、赤色の文字をドラッグ＆ドロップして移動します。 「1 行を追加」にチェックを入れると、1 行追加できます。

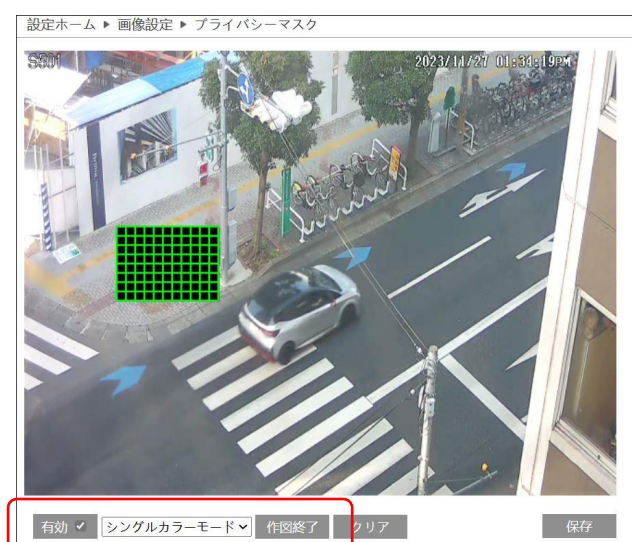
5-2-4 ビデオマスク

画像の中に表示させたくないエリアがあるときはビデオマスクを設定します。ビデオマスクは最大 4 か所に設定できます。



➤ ビデオマスクの設定方法

- ① 「有効」にチェックを入れます。
- ② 「エリアを書く」をクリックします。画面上でマウスをドラッグしてビデオマスクのエリアを設定します。（緑色のマス目を表示します）エリアを再設定するときは「クリア」をクリックします。（すべてのエリアを削除します）
- ③ エリアの設定を止めるときは「作画終了」をクリックします。
- ④ 「保存」をクリックすると、ビデオマスクのエリアを保存します。



「ドローエリア」⇔「ドローを停止する」

5-2-5 ROI 設定

ROI (Region of Interest) を設定します。ROI を設定した領域のみ解像度が上がり、他の部分よりはっきりした映像になります。



➤ ROI (Region of Interest) の設定方法

- ① 「有効」にチェックを入れます。
- ② 「エリアを描く」をクリックします。画面上でマウスをドラッグして ROI 領域のエリア（赤枠）を設定します。エリアを再設定するときは「クリア」をクリックします。
- ③ エリアの設定を止めるときは「作画終了」をクリックします。
- ④ ROI のレベルを調整します。
- ⑤ 「保存」をクリックすると、ROI 領域のエリアを保存します。

5-3 アラーム

アラームを選択すると以下の画面になります。ここでは、モーション検出、異常、アラーム入力、アラーム接点出力、アラームサーバ、5つのサブメニューがあります。

設定ホーム ▶ アラーム設定	
アラーム設定	
● モーション検出	動体検出の検出エリアの設定や、感度、連携動作、動作スケジュールを設定します。
● 異常	アラームのパラメータを設定して異常アラームに連動させる設定も行います。
● アラーム入力	アラーム入力設定と連動スケジュールを設定します。
● アラーム接点出力	アラーム出力を設定します。
● アラームサーバ	アラームサーバを設定します。

5-3-1 モーション検出

モーション検知を設定します。

➤ アラーム設定

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ モーション検出	
検出設定	エリアと感度 スケジュール選択
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
アラーム維持期間	5秒 ▼
連携するアラーム出力	
<input type="checkbox"/> アラーム接点出力 0 <input type="checkbox"/> アラーム接点出力 1 <input type="checkbox"/> アラーム接点出力 2 <input type="checkbox"/> アラーム接点出力 3	
<input type="checkbox"/> 写真をSDカードに保存	
<input type="checkbox"/> SDカード録画	
<input type="checkbox"/> メールを送信	
<input type="checkbox"/> FTPファイル転送	
保存	

表示	説明
アラーム維持時間	映像に動きを検出したときライブ画面右上に表示する動体アラームアイコンが点滅する時間を設定します。
連携するアラーム出力	映像に動きがあったときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。
写真を SD カードに保存	チェックを入れると、SD カードに静止画を保存する機能を有効にします。
SD カード録画	チェックを入れると、SD カードに録画を保存する機能を有効にします。
メール送信 ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。
FTP ファイル転送 ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。 ※各アラームの説明は、次の連携するアラーム出力を参照してください。

※1 事前に「5-5-11 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-5-12 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

連携するアラーム出力

● アラーム接点出力

[アラーム接点出力]にチェックを入れると、カメラに接続している外部リレー出力がトリガーされます。

アラーム出力に関する設定は、「5-3-4 アラーム接点出力」で行う必要があります。

● 写真を SD カードに保存

チェックを入れると、検出時に画像をキャプチャし SD カードに保存します。

キャプチャ画像の解像度は、「5-2-2 映像/音声」の写真のストリームで設定します。


SD カードへの画像保存に関する設定は、「5-1-4 ストレージ」の「写真撮影」で行う必要があります。

SD カードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム持続期間：20 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム持続期間	20秒	
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	3	




	時間	タイプ
1	08:23:49	■
2	08:23:44	■
3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存。

[例 2] アラーム持続期間：3 秒、スナップショット間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、アラーム持続期間が 3 秒で終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム持続期間	3秒	
スナップショット間隔	5	秒
撮影枚数	2	



	時間	タイプ
1	08:31:47	■

※アラーム持続期間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

● SD カード録画

チェックを入れると、検出時のビデオが SD カードに保存されます。

SD カードへの録画に関する設定は、「5-1-4 ストレージ」の「録画」で行う必要があります。

● メールを送信

[メールを送信]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択し、メールの件名と内容を入力します。検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> メールを送信	
メールの送信先	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@hytec.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@yahoo.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@gmail.com	<input type="checkbox"/> 写真添付
メールの件名	<input type="text"/>
メールの内容	<input type="text"/>

E メール通知の送受信に関する設定は、「5-5-11 Email」で事前に行う必要があります。

● FTP ファイル転送

チェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択し、検出時の写真を添付する場合は[写真添付]にチェックを入れます。

FTP サーバに関する設定は、「5-5-12 FTP」で事前に行う必要があります。

ログファイルとスナップショットは、《 指定フォルダ > MAC アドレス > イベント名 > 日付 > 時間 》に保存されます。



(1) 写真添付なしの場合

イベント発生時に、ログファイルが転送されます。

(2) 写真添付ありの場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム持続期間(5 秒)が経過後、スナップショット 1 枚が転送されます。

名前	日付時刻	種類	サイズ
MOTION_20200221103150.txt	2020/04/23 9:33	テキストドキュメント	1 KB
MOTION_20200221103150_163.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	47 KB
MOTION_20200221103155_97.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	48 KB

(3) イベント発生時間がアラーム持続期間を超える場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム持続期間を経過するごとにスナップショット 1 枚が転送されます。

[例] イベント発生時間：25 秒、アラーム持続期間：10 秒の場合

イベント発生時に「ログファイル」と「スナップショット 1 枚」、1・2 回目のアラーム持続期間経過後に「スナップショット 1 枚ずつ(計 2 枚)」、3 回目のアラームの途中でイベントが終了し、アラーム持続期間経過後に「最後のスナップショット 1 枚」

名前	日付時刻	種類	サイズ
SENSOR1_20200221111800.txt	2020/04/23 10:20	テキストドキュメント	1 KB
SENSOR1_20200221111800_127.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	34 KB
SENSOR1_20200221111810_195.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	30 KB
SENSOR1_20200221111820_120.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	28 KB
SENSOR1_20200221111830_140.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	29 KB

エリアと感度

動体検知を行うエリアを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ 動き検出

アラーム設定 **エリアと感度** スケジュール



感度 低い  高い 2

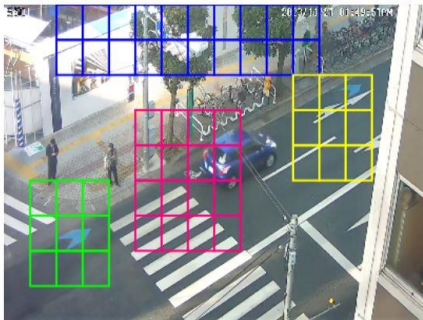
ドローエリア ☒ 追加する ☐ 消去する


すべて選択 すべてクリア 反転選択

保存

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ モーション検出

検出設定 **エリアと感度** スケジュール選択



感度 低い  高い 7

作画終了 ☒ 追加 ☐ 削除

全領域を選択 すべてクリア 反転領域反転

保存

- ① 「エリアを描く」をクリックします。画面上でマウスをドラッグして動体検知のエリアを設定します。感度バーを変更して繰り返し描画すると、動体検知エリアの色は感度バーで設定した色で描画されていきます。エリアを再設定するときは「すべてクリア」をクリックして再描画します。
- ② エリアの設定を止めるときは「作画終了」をクリックします。
- ③ 「保存」をクリックすると、動体検知エリアを保存します。

➤ スケジュール

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ モーション検出

検出設定 エリアと感度 **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 11-27 + -

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

● 定時

動体検知を有効にする時間帯を設定することができます。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯は動体検知します。）動体検知しない時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去する」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法 2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

- **休日**

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。
複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加する」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

5-3-2 異常

SD カードフル、SD カードエラー、IP アドレスの競合、LAN ケーブル接続不良が発生したときの通知方法を設定します。「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

➤ SD カードフル

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合 LANケーブル接続不良

☐ 有効

アラーム維持期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力0 ☐ アラーム接点出力1 ☐ アラーム接点出力2 ☐ アラーム接点出力3

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
アラーム維持時間	SD カードの容量が無くなったときアラーム出力を何秒間出力するのか設定します。
連携するアラーム出力	SD カードの容量が無くなったときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。 ※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください
メールを送信 ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。
FTP ファイル転送 ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-5-11 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-5-12 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

➤ SD カードエラー

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

表示	説明
アラーム維持時間	SD カードにエラーが発生したときアラーム出力を何秒間出力するのか設定します。
連携するアラーム出力	SD カードにエラーが発生したときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。 ※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください
メールを送信 ※1	チェックを入れると、E メールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。
FTP ファイル転送 ※2	チェックを入れると、FTP サーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-5-11 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-5-12 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

➤ IP アドレスの衝突

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合 LANケーブル接続不良

☐ 有効

アラーム維持期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力0 ☐ アラーム接点出力1 ☐ アラーム接点出力2 ☐ アラーム接点出力3

保存

表示	説明
アラーム維持時間	IP アドレスの競合が発生したときアラーム出力を何秒間出力するのが設定します。
連携するアラーム出力	IP アドレスの競合が発生したときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。 ※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください

➤ ケーブルが接続されていない

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合 LANケーブル接続不良

☐ 有効

アラーム維持期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力0 ☐ アラーム接点出力1 ☐ アラーム接点出力2 ☐ アラーム接点出力3

保存

表示	説明
アラーム維持時間	ケーブル接続異常が発生したときアラーム出力を何秒間出力するのか設定します。
連携するアラーム出力	ケーブル接続異常が発生したときアラームを出力します。チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください

5-3-3 アラーム入力

アラーム入力を設定します。

➤ アラーム設定

「有効」にチェックを入れると以下の画面を表示します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム入力

検出設定

スケジュール選択

センサーID

アラーム入力1 ▼

設定を適用する

アラーム入力2 ▼

☒ 有効

接点形式

N.O. ▼

アラーム維持期間

30秒 ▼

センサー名

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力 0 ☐ アラーム接点出力 1 ☐ アラーム接点出力 2 ☐ アラーム接点出力 3

☒ 写真をSDカードに保存

☒ SDカード録画

☐ メールを送信

☒ FTPファイル転送

サーバアドレス

☒ 192.168.122.180 ☒ 写真添付

保存

表示	説明
接点形式	N.O.（ノーマルオープン）とN.C.（ノーマルクローズ）を設定します。
アラーム維持時間	ライブ画面上に表示するアラームアイコンの表示時間を設定します。
センサー名	センサーの名称を入力します。
連携するアラーム出力	チェックを入れると、アラーム出力を有効にします。 ※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください
写真をSDカードに保存	チェックを入れると、SDカードに静止画を保存する機能を有効にします。
SDカード録画	チェックを入れると、SDカードに録画を保存する機能を有効にします。
メール送信 ※1	チェックを入れると、Eメールに通知する機能を有効にします。 Eメールの受信者をリストから選択し、メールの件名とメールの内容を入力します。写真を添付する場合は、“添付写真”にチェックを入れます。
FTPファイル転送 ※2	チェックを入れると、FTPサーバから通知する機能を有効にします。リストからサーバを選択します。

※1 事前に「5-5-11 Email」設定で、送信者と受信者のアドレスを設定する必要があります。

※2 事前に「5-5-12 FTP」設定で、FTP サーバを設定する必要があります。

➤ スケジュール

● 1 週間の日程

アラーム入力を有効にする時間帯を設定することができます。

スケジュールは初期設定で 24 時間連続に設定されています。（緑帯になっている時間帯は有効です。）アラーム入力を無効にする時間帯をスケジュールに追加するときは、緑色の時間帯を白帯にする必要があります。

白帯にする方法は 2 つあります。

始めに「消去」のラジオボタンを選択します。

方法 1：緑帯の上をドラッグ&ドロップで選択する。白帯に変更されます。

方法 2：手動入力をクリックすると時間を入力するウインドウを表示するので時間を入力して「OK」をクリックする。

曜日ごとに上記方法を繰り返す。

- **休日**

日付を指定してスケジュールを設定するときは休日スケジュールに設定します。
複数の日付を設定することも出来ます。

日付の追加：日付を入力して「追加」をクリックします。

日付の削除：日付一覧から日付を選択して「削除」をクリックします。

保存ボタンを押して設定を保存します。



「5-1-2 日付と時間」を参考にして本機の時計を設定してください。

5-3-4 アラーム接点出力

アラーム出力の設定をします。

➤ アラーム連動

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力ID

アラーム接点出力0

▼

アラーム出力モード

アラーム連動

▼

アラーム出力名

alarmOut1

アラーム維持期間

5秒

▼

接点形式

N.O.

▼

保存

表示	説明
アラーム出力 ID	アラームの出力先の指定。
アラーム出力モード	アラームに連動してアラームを出力します。
アラーム出力名	アラームの名称を入力します。
アラーム維持時間	アラーム出力の持続時間を設定します。
接点形式	N.O.（ノーマルオープン）と N.C.（ノーマルクローズ）を設定します。

➤ 手動操作

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力ID

アラーム接点出力0

▼

アラーム出力モード

手動操作

▼

接点形式

N.O.

▼

手動操作

ON

OFF

保存

表示	説明
アラーム出力 ID	アラームの出力先の指定。
アラーム出力モード	アラーム出力を手動で操作します。
接点形式	N.O.（ノーマルオープン）と N.C.（ノーマルクローズ）を設定します。
手動操作	「オープン」または「閉じる」をクリックして、アラーム出力のオンまたはオフを手動で操作できます。

➤ 設置された時間での実行

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力ID

アラーム接点出力0

▼

アラーム出力モード

設定された時間で実行

▼

接点形式

N.O.

▼

時間範囲

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

○ 削除 ● 追加

手動入力

保存

表示	説明
アラーム出力 ID	アラームの出力先の指定。
アラーム出力モード	設定した時間になるとアラームを出力します。
接点形式	N.O.（ノーマルオープン）と N.C.（ノーマルクローズ）を設定します。
時間範囲	アラームを動作させたい時間を設定します。



※照明や赤外線ライトを連動させるなどが想定されます。

5-3-5 アラームサーバ

アラームサーバを設定します。アラームが発生したとき、アラームイベントをアラームサーバに転送します。アラームサーバのサーバアドレスとポート番号、死活監視を設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラームサーバ

サーバアドレス	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
ポート	<input type="text" value="8010"/>
ハートビート	<div>無効にする</div>
ハートビート間隔	<div><input type="text" value="30"/> 秒</div>

OK

表示	説明
サーバアドレス	アラームサーバのアドレスを入力します。
ポート	アラームサーバのポート番号を入力します。
ハートビート	死活監視機能を設定します。
ハートビート間隔	ハートビートの間隔を設定します。 設定範囲：10 秒～1800 秒

5-4 イベント

イベントを選択すると以下の画面になります。ここでは、物体検知、妨害検知、ラインクロス、領域に入る、領域を出る、ターゲットカウント、地域統計、エリア侵入検知、顔検出、ヒートマップ 10 つのサブメニューがあります。

設定ホーム ▶ イベント設定	
イベント設定	
● 物体検知	物体の置き去り、持ち去り、移動を検知します。
● 妨害検知	カメラ妨害を検知します（向きを変える、ピンボケ、レンズに物をかざすなど）
● ラインクロス	指定したラインを指定方向に超えたことを検知します
● 領域に入る	指定されたエリアに進入する人と車両のフロー情報を計算します。
● 領域を出る	指定されたエリアを出る人と車両のフロー情報を計算します。
● ターゲットカウント	ターゲットカウントは、ラインを横切る人と車両の数を数えます。
● 地域統計	指定エリアの人や車両の流れ情報を計算します。
● エリア侵入検知	指定した領域に外部から侵入したことを検知します。
● 顔検出	映像の中の顔を検出して追跡します。
● ヒートマップ	特定地域の人や車両の分布情報を計算します。

5-4-1 物体検知（物体出現・消失検知）

指定したエリアで物体の置き去り、あるいは、持ち去りを検知します。

注意：[置き去り]と[持ち去り]の選択は未サポートです。どちらを選択しても[置き去り]と[持ち去り]の両方を検出します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、物体検知によるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 物体検知

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☒ 置き去り物検出有効

☐ 持ち去り物検出

遅延時間 10 秒

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	物体検知を有効にする場合は、チェックを入れます。 [置き去り物検出]か[持ち去り物検出]のどちらかを選択します。 注意：[置き去り]と[持ち去り]の選択は未サポートです。どちらを選択しても[置き去り]と[持ち去り]の両方を検出します。
遅延時間	物体を検出するまでの遅延時間を設定します。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送
保存	設定を保存します。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、物体検知の検出エリアを設定します。



表示	説明
検出領域	検出領域は 1 エリアのみ設定できます。
エリアを描く/描図終了	検出エリアを画面上に描画します。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

物体検知エリアの設定

- ① 検出領域を選択します。(最大 1 つ)
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に検出したいエリアをクリックして赤丸を 4～6 つ置き、線で繋いで検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を停止します。
- ④ **クリア** をクリックすると、作成した検出エリアが削除されます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、物体検知のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 物体検知

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-29 + -

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)


追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して




保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-4-2 妨害検知

カメラへの妨害を検知します。（カメラの向きが急に変わる。ピンボケになる。カメラを隠す。）

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、妨害検知によるアラームを設定します。

表示	説明
急激なシーン変化検出	急激なシーン変化検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラの向きが急に変わるなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
不鮮明画像 （ピンボケ）検出	不鮮明画像検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ピンボケなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
映像妨害 （隠す、塞ぐ）検出	アラーム入力を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラが隠されるなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。 1 秒、3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください
保存	設定を保存します。

➤ 感度

検出感度を設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 妨害検知

検出設定 感度

感度 50

保存

表示	説明
感度	妨害検知する感度を設定します。値が大きいほど感度は高くなります。
保存	設定を保存します。

5-4-3 ラインクロス（ライン超え検知）

設定したラインを検出対象が指定方向に通過したことを検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、ラインクロスによるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット

人間 ☒

車両 ☒

オートバイ/自転車 ☒

感度

50

50

50

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

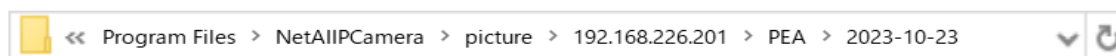
保存

表示	説明
有効	ラインクロスを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ラインクロスを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	ラインクロス検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPC※1またはSDカード※2に保存されます。
ターゲット画像をSDカードに保存	ラインクロスで検出した全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPCまたはSDカードに保存されます。

検出対象	<p>ラインクロスを検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定したライン：青色線</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>ライン：赤色線</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「5-1-3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ラインクロスを検出エリアを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定 **エリア** スケジュール選択



検出ライン
1
検出方向
A->B

エリアを描く クリア 保存

表示	説明
検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 4 パターン設定できます。
検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A→B、B→A、A⇔B
エリアを描く/作図終了	検出ラインを画面上に描画します。
クリア	設定した検出ラインを削除します。
保存	設定を保存します。

ラインクロスのライン設定

- ① 検出ラインと検出方向を選択します。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを引きます。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出ラインの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出ラインを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、ラインクロス検出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)


追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して

保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-4-4 領域に入る（エリア侵入検知）

指定したエリアに侵入する人や車両を検出します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域に入ったときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域に入る

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット

人間 ☒

車両 ☒

オートバイ/自転車 ☒

感度

50

50



50

アラーム持続期間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力☐ 写真をSDカードに保存☐ SDカード録画☐ メールを送信☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	領域侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像を SD カードに保存	領域侵入を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット画像を SD カードに保存	領域侵入を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。

	ターゲットの写真はローカル PC または SD カードに保存されます。
検出対象	<p>領域侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>侵入エリア：赤色枠</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「5-1-3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域侵入の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域に入る エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ侵入検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、領域侵入のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)


追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して

保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-4-5 領域を出る（エリア退出検知）

指定したエリアから出る人や車両を検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定領域から出るときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域を出る

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット

感度

☒ 人間

50

☒ 車両

50

☒ オートバイ/自転車

50

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

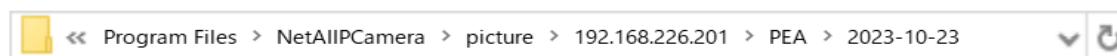
保存

表示	説明
有効	領域退出による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域退出を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像を SD カードに 保存	領域退出を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC または SD カードに保存されます。
ターゲット画像を SD カ ードに保存	領域退出を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプ チャします。 ターゲットの写真はローカル PC または SD カードに保存されます。

検出対象	<p>領域退出を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>侵入エリア：赤色枠</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「5-1-3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、領域退出の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出ライン	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

領域を出す エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ退出検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、退出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、領域退出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)


追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して

保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-4-6 ターゲットカウント（ライン通過カウント）

設定したラインを通過する人や車両、オートバイ・自転車の数をカウントします。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したラインを通過する人や車両、オートバイ・自転車のアラーム設定をします。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度	滞在しきい値
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div><div></div></div> 50	<input type="text" value="100"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div><div></div></div> 50	<input type="text" value="100"/>
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div><div></div></div> 50	<input type="text" value="100"/>

カウントリセット

設定された時間で実行

オフ

マニュアル

リセット

アラーム持続期間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	ラインの通過によるカウントを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ライン通過を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	ラインの通過を検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPCまたはSDカードに保存されます。
ターゲット画像をSDカードに保存	ラインの通過を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPCまたはSDカードに保存されます。
検出対象	ラインの通過を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。

	<p>検出エリア内での滞在検出時間を滞在しきい値として設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>エリア侵入：赤色枠</p>
カウントリセット	<p>[設定された時間で実行]で、カウントリセットの間隔を設定します。</p> <p>毎日：時間を指定します。</p> <p>毎週：曜日(日～土)と時間を指定します。</p> <p>毎月：日にち(1～31)と時間を指定します。</p> <p>オフ：カウントリセットはしません。</p> <p>マニュアル： リセット をクリックして、手動でリセットを行います。</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「5-1-3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

エリア

[エリア]タブを開き、ターゲットカウントの検出ラインを描画します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定 **エリア** スケジュール選択

2Mpix NE Entrance: human-0 car-22 bike-0
Exit : human-0 car-0 bike-0



エリアを描く クリア

検出ライン 1 ▼
検出方向 A->B ▼
☒ 統計

OSD

☒ スタート Entry
☒ 終了 Exit
☒ ステイ Stay

ヒューマン human
車 car
バイク bike
しきい値未満 Welcome
しきい値を超えています Please wait

保存

表示	説明
検出ライン	検出ラインを選択します。検出ラインは最大 1 パターン設定できます。
検出方向	設定した検出ラインを通過する方向を設定します。 A → B、B → A
統計	画面に統計情報を表示する場合はチェックします。
エリアを描く/作図終了	検出ラインを画面上に描画します。
クリア	設定した検出ラインを削除します。
保存	設定を保存します。

76

ターゲットカウントのライン設定

- ① 検出ラインは 1 つのみ設定できます。

ラインに対する A エリアと B エリアの検出方向を設定します。

A->B : A から B を Entrance（入る）、B から A を Exit（出る）でカウントします。

A<-B : A から B を Exit（出る）、B から A を Entrance（入る）でカウントします。



- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出ラインの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます、
- ⑤ Entrance（入る）と Exit（出る）のカウンタを表示します。右上の赤枠をドラッグすると表示位置を変更できます。
- ⑥ **保存** をクリックし、検出ラインを保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、ターゲットカウントのスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ターゲットカウント

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-30 + -

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。



消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-4-7 地域統計（エリア内滞留カウント）

指定したエリアに存在する物体をカウントします。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアに存在する物体のカウントとアラーム設定をします。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 地域統計

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度		滞在しきい値
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div><div></div></div>	50	100
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div><div></div></div>	50	100
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div><div></div></div>	50	100

カウントリセット

設定された時間で実行

オフ

マニュアル

リセット

アラーム持続期間

20秒

アラーム発報までの時間

0

 秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存


☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

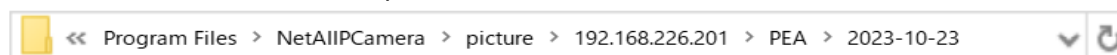
保存

表示	説明
有効	地域統計を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 検出対象を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像を SD カードに 保存	検出対象を検出時に全景（第 1 ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカル PC または SD カードに保存されます。
ターゲット画像を SD カ ードに保存	検出対象を検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC または SD カードに保存されます。

検出対象	<p>検出エリア内で検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>検出エリア内での滞在検出時間を滞在しきい値として設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>エリア侵入：赤色枠</p>
カウントリセット	<p>[設定された時間で実行]で、カウントリセットの間隔を設定します。</p> <p>毎日：時間を指定します。</p> <p>毎週：曜日(日～土)と時間を指定します。</p> <p>毎月：日にち(1～31)と時間を指定します。</p> <p>オフ：カウントリセットはしません。</p> <p>マニュアル： をクリックして、手動でリセットを行います。</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「5-1-3 ローカル設定」の「ローカスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、地域統計の検出領域を描画します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 地域統計

検出設定 **エリア** スケジュール選択

IPC 2022/09/30 09:55:45



エリアを描く クリア

検出領域 1

☒ 統計

OSD

☒ スタート Entry

☒ 終了 Exit

☒ ステイ Stay

ヒューマン human

車 car

バイク bike

しきい値未満 Welcome

しきい値を超えています Please wait

保存

表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 1 パターン設定できます。
統計	画面に統計情報を表示する場合はチェックします。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。
クリア	設定した検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

検出領域のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。1 エリアのみ設定できます。
- ②

エリアを描く

 をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ地域統計検出エリアを作成します。
- ③

作図終了

 をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④

クリア

 をクリックすると、検出エリアが削除されます。
- ⑤ 赤枠の統計情報の表示領域をクリックしてドラックすると、表示場所を変更できます。
- ⑥

保存

 をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、地域統計のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 地域統計

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-30 + -

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。



消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-4-8 エリア侵入検知（エリア内活動検知）

指定したエリアに侵入したことを検知します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアに侵入したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ 元の画像をSDカードに保存

☐ ターゲット画像をSDカードに保存

検出対象

ターゲット	感度	
<input checked="" type="checkbox"/> 人間	<div><div></div></div>	50
<input checked="" type="checkbox"/> 車両	<div><div></div></div>	50
<input checked="" type="checkbox"/> オートバイ/自転車	<div><div></div></div>	50

アラーム持続期間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

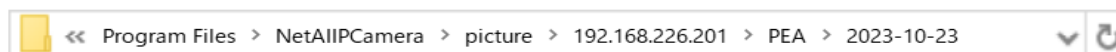
保存

表示	説明
有効	エリア侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 エリア侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
元の画像をSDカードに保存	エリア侵入による検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPCまたはSDカードに保存されます。
ターゲット画像をSDカードに保存	エリア侵入による検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPCまたはSDカードに保存されます。

検出対象	<p>エリア侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。</p> <p>※感度設定について</p> <p>設定したイベント検出の感度です。感度の数値を小さくすると検出対象を検出しにくくなります。感度の数値を大きくすると検出しやすくなります。</p> <p>ライブ画面上では、以下のように表示されます。</p> <p><u>通常時</u></p> <p>人間：緑色枠</p> <p>車両：紫色枠</p> <p>オートバイ/自転車：水色枠</p> <p>設定した枠：青色枠</p> <p><u>検出時</u></p> <p>ターゲット：黄色枠</p> <p>エリア侵入：赤色枠</p>
アラーム持続時間	<p>アラームの持続時間を設定します。</p> <p>3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。</p> <p>持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください</p>
保存	<p>設定を保存します。</p>

※1:ローカル PC に保存する場合は、「5-1-3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

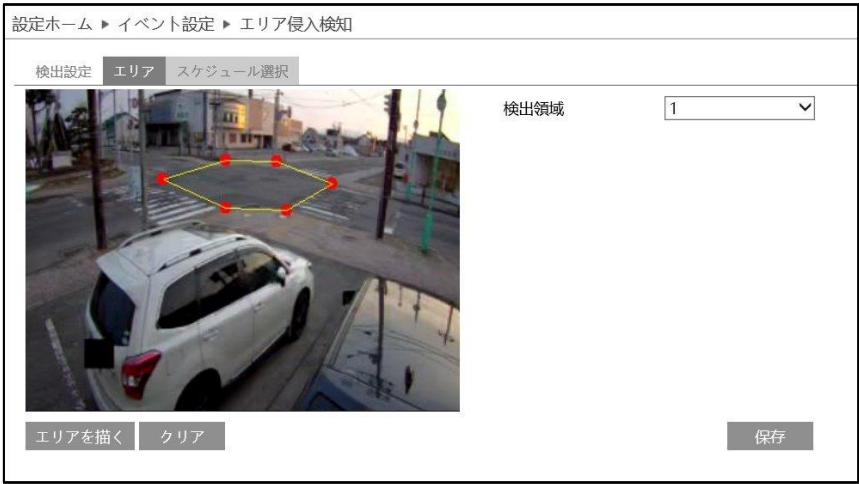
写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、エリア侵入検知の検出エリアを描画します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

エリア侵入検出 エリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つ設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎエリア侵入検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、エリア侵入検知のスケジュールを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定 エリア **スケジュール選択**

○ 削除 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 09-30 + -

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：エリア侵入検知を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)


追加：エリア侵入検知を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して

保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

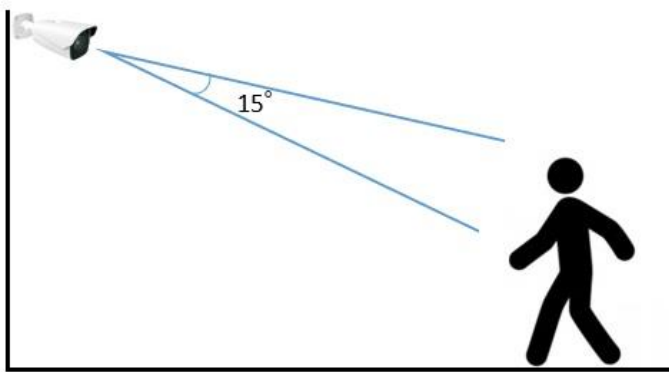
5-4-9 顔検出

映像の中の顔を検出して追跡を行います。本機にはデータベース機能はありません。

顔比較のデータベース機能を持つ NVR/VMS と連携して使用してください。

カメラおよび周辺地域の構成要件

- カメラは、安定した十分な光源のある場所に設置すること。
- 設置高さは 2.0m～3.5m の範囲で、レンズの焦点距離と対象物の距離に応じて調整すること。
- カメラの俯角※1 は、15°以下でなければならない。



※1 俯角：水平方向に見下ろしたときの、検出可能な角度。

- 顔検出の精度を確保するため、左右方向に 30°以内、上下方向に 20°以内の顔のみ撮影されます。
- 混雑したシーン(空港、駅、広場など)、逆光のシーン、交差点などは撮影できません。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、指定したエリアで顔を検出したときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔検出

検出設定 エリア 高度な設定 スケジュール選択

状態 ワーキング

☒ 有効

☐ ソース情報をSDカードに保存

☐ 顔情報をSDカードに保存

アラームトリガー状態 全てのアラーム ▼

アラーム持続期間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力




☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ メールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
状態	状態を表示します。
有効	顔検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 顔検出後に、アイコンは赤く  点滅します。また、右下の  で、検出された顔を確認することができます。
ソース情報をSDカードに保存	顔検出時に全景（第1ストリーム）をキャプチャします。 キャプチャ画像はローカルPCまたはSDカードに保存されます。
顔情報をSDカードに保存	顔検出時に全景写真からターゲット部分を切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカルPCまたはSDカードに保存されます。
アラーム持続時間	アラームの持続時間を設定します。

	3 秒、5 秒、10 秒、20 秒、30 秒、60 秒、2 分から選択します。 持続している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、5-3-1 の連携するアラーム出力を参照してください
保存	設定を保存します。

※1:ローカル PC に保存する場合は、「5-1-3 ローカル設定」の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2:SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、顔検出エリア（黄色枠）と顔の大きさを設定します。



表示	説明
エリアを描く/作図終了	顔検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上をドラッグして描画します。最初は黄色枠が全体に設定されています。クリアを押して黄色枠を削除してから作成します。 (黄色枠の中で顔検出します。検出領域は 1 か所設定できます。)
クリア	検出エリアを削除します。
最小	検出する顔の最小サイズを設定します。
最大	検出する顔の最大サイズを設定します。
保存	設定を保存します。

顔検出エリアと検出する顔の大きさを設定

- ① **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に黄色の枠で顔検出エリアを作成します。検出エリアは 1 か所設定できます。
- ② **作図終了** をクリックすると、顔検出エリアの描画を停止します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます。
- ④ 次に顔の大きさの最小値と最大値を設定します。
(設定範囲：3～50%)
選択されている方は赤い点で表されます。**エリアを描く** をクリックしたときは、赤い点をドラッグすることで大きさが調節できます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアと顔の大きさを保存します。



➤ 高度な設定

顔検出に関する設定をします。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔検出

検出設定 エリア 高度な設定 スケジュール選択

重複排除期間

重複期間 30秒 ▼

写真撮影数 3 ☒

保存

表示	説明
重複期間 (撮影時間間隔)	写真を撮影する間隔を設定します。 30 秒が選択されている場合、同じターゲットが映像内に存在していると 30 秒に 1 度キャプチャします。
写真撮影数	チェックを入れることで、スナップショットの枚数を指定できます。上記の撮影時間間隔で、最大何枚の写真を撮影するか設定します。チェックが外れている（無効）場合、撮影時間間隔（上図では 30 秒間隔）で 1 枚撮影します。
保存	設定を保存します。

➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、スケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：地域統計を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)


追加：地域統計を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して

保存します。削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-4-10 ヒートマップ

指定したエリアの人や車両の分布情報を計算します。

➤ 検出設定

[検出設定]タブを開き、検出対象を設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ヒートマップ

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

検出対象

ターゲット

感度

☒ 人間

☒ 車両


☒ オートバイ/自転車

50

50

50

保存

表示	説明
有効	ヒートマップを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効に設定したとき、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。
検出対象	エリア侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 またライブ画面上では、以下のように表示されます。 <u>通常時</u> 人間：緑色枠 車両：紫色枠 オートバイ/自転車：水色枠 設定した枠：青色枠 <u>検出時</u> ターゲット：黄色枠 エリア侵入：赤色枠
保存	設定を保存します。

➤ エリア

[エリア]タブを開き、ヒートマップ検出エリアを設定します。



表示	説明
検出領域	検出領域を選択します。検出領域は最大 4 パターン設定できます。
エリアを描く/作図終了	検出エリアを画面上に描画します。 マウスで画面上にクリックすると赤い点が表示されます。囲むようにクリックします。
クリア	検出エリアを削除します。
保存	設定を保存します。

エリア設定

- ① 検出領域を選択します。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でクリックし赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎヒートマップ検出エリアを作成します。
- ③ **作図終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。



➤ スケジュール選択

[スケジュール選択]タブを開き、スケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

● 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。


消去：ヒートマップを無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：ヒートマップを有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：[削除]または[追加]を選択してから、タイムライン右下の[手動入力]をクリックし、時間帯を設定します。

● 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから をクリックします。

5-5 ネットワーク

TCP/IP、ポート、サーバー、ONVIF、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、RTMP、UPnP、Email、FTP、HTTP POST、HTTPS、QoS、TS Multicast などのサブメニューがあります。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定	
ネットワーク設定	
● TCP/IP	ネットワークを設定します。(IPアドレス、DNSサーバ、PPPoEなど)
● ポート	HTTP、HTTPS、データ、RTSPなどのポート設定
● サーバー	認証サーバを設定します。
● ONVIF	統合プロトコルユーザーは、RTSPおよびOnvifプロトコルのログイン管理に適用されます。Onvifプロトコルの追加、変更、削除、およびクエリは、統合プロトコルのユーザーを操作しています。
● DDNS	DDNSサーバを設定します。
● SNMP	ネットワーク機器を監視してネットワーク障害の原因を把握します。
● 802.1X	デバイスの認証モードを手動で選択できるようにします。
● RTSP	リモートビデオストリーミングを使用する場合はRTSPを設定します。
● RTMP	リモートビデオストリーミングのRTMP設定と構成。
● UPnP	ネットワークに接続する機器同士の接続を簡単にします。
● Email	メール設定を行います。
● FTP	FTPサーバを設定します。
● HTTP POST	デバイスからの通知やアラームなどを受信するために使用できるHTTPPOSTサーバをセットアップします。
● HTTPS	httpsはSSLを利用したhttp通信です。SSLは通信を暗号化し、安全に情報を取り扱うことができます。
● QoS	ネットワーク機器にQoSを実装することで、特定の通信を優先して伝送させたり、帯域幅を確保することができます。
● TS Multicast	UDPのマルチキャストアドレスを設定します。マルチキャストのオーディオおよびビデオストリームはトランスポートストリームです。

5-5-1 TCP/IP

ネットワークの設定を行います。（IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、PPPoE など）

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス テスト

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

保存

➤ IPv4 アドレス

IPv4 の設定方法

- **自動的に IP アドレスを取得する**

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

- **以下の IP アドレスを使う**

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを手動で設定・変更する必要があります。

をクリックすると、IP アドレスが使えるのか(競合していないか)確認することができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス テスト

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

保存

➤ IPv6 アドレス

IPv6 の設定方法

● 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

● 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットプレフィックス長さ、ゲートウェイを手動で設定・変更する必要があります

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 **IPv6** PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネット長

ゲートウェイ

保存

➤ PPPoE 設定

有効にチェックを入れ、PPPoE を有効にします。

ISP(プロバイダ)から提供された、ユーザー名とパスワードを入力し、保存をクリックします。

WAN IP を取得すると、インターネットに接続できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 **PPPoE設定** IP変更通知設定

☐ 有効

ユーザー名

パスワード

保存

➤ IP 変更通知設定

デバイスの IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的にメールまたは FTP に送信されます。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☒ Eメールを送信

メールの送信先

☐ @hytec.co.jp

☐ @yahoo.co.jp

☐ @gmail.com

☒ FTPファイル転送

サーバアドレス

☐ 172.16.2.3

保存

[E メールを送信]にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択します。

※E メール通知の送受信に関する設定は、「5-5-11」で事前に行う必要があります。

[FTP ファイル]にチェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択します。

※FTP サーバに関する設定は、「5-5-12」で事前に行う必要があります。

保存 をクリックして、設定を保存します。

5-5-2 ポート

HTTP、HTTPS、データ、RTSP のポート番号を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	QoS
HTTPポート	<input type="text" value="80"/>												
HTTPSポート	<input type="text" value="443"/>												
データポート	<input type="text" value="9008"/>												
RTSPポート	<input type="text" value="554"/>												
ロングポーリングポート	<input type="text" value="8080"/>											<input checked="" type="checkbox"/> 有効	
WebSocketポート	<input type="text" value="7681"/>												
<div>保存</div>													

表示	説明
HTTP ポート	HTTP プロトコルで制御を行うポートです。（初期値：80）
HTTPS ポート	HTTPS プロトコルで制御を行うポートです。（初期値：443）
データポート	カメラ制御を行うポートです。（初期値：9008）
RTSP ポート	RTSP プロトコル制御を行うポートです。（初期値：554）
ロングポーリングポート	Web サーバ永続接続要求を行うポートです。（初期値：8080）
WebSocket ポート	双方向通信を行うポートです。（初期値：7681）
保存	設定を保存します。

5-5-3 サーバ

認証サーバを設定します。この機能は、主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定													
ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効													
サーバポート	<input type="text" value="2009"/>												
サーバアドレス	<input type="text" value="*****.autoddns.com"/>												
デバイスID	<input type="text" value="1"/>												
<input type="button" value="保存"/>													

サーバを設定します。

- ① 有効にチェックを入れ、サーバを有効にします。
- ② ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- ③ ECMS/NVMS に新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを確認します。
- ④ デバイスの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- ⑤ システムはすべてのデバイス ID を自動的に表示します。ECMS/NVMS で確認してください。
- ⑥ 上記のサーバアドレス、サーバポート、デバイス ID を入力します。
- ⑦ をクリックして、設定を保存します。

5-5-4 ONVIF

ONVIF プロトコルで操作できるユーザーを登録します。この機能は、ONVIF プロトコルを利用できるカメラのみ利用できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー **ONVIF** DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS

追加 変更 削除

Index	ユーザー名	ユーザー区分
1	admin	管理者

[追加]ボタンをクリックしてユーザーを追加します。ユーザー名、パスワード、ユーザー区分を入力して[OK]をクリックします。ヒントに従ってパスワードを設定してください。

ユーザーの追加

×

ユーザー名

パスワード

レベル

パスワードは、数字、特殊文字、大文字または小文字で構成できます。

パスワード確認

ユーザー区分

管理者 ▼

OK

キャンセル

パスワードを変更する場合は、該当ユーザーを選択して[変更]ボタンをクリックします。

ユーザーを削除したい場合は、該当ユーザーを選択して[削除]ボタンをクリックします。

5-5-5 DDNS

DDNS サーバを設定します。

DDNS 設定方法

いくつかの DDNS タイプが選択されている場合、サーバアドレスとドメイン名を入力する必要があります。DNS ウェブサイトにアクセスしてドメイン名を登録し、ここに登録されたドメイン情報を入力してください。

《例》 **www.dvrddns.com** をサーバとした場合

- ① IE アドレスバーに **www.dvrddns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

- ② [Registration (登録)] ボタンをクリックすると、以下のようにインタフェースに進みます。
DDNS アカウント情報 (ユーザ名、パスワードなど) を設定し、[Submit (送信)] ボタンをクリックして、アカウントを保存します。

Welcome to DvrDyDns
Create a user account or choose existing users below to begin.

DDNS account creation.

NEW USER REGISTRATION

USER NAME	<input type="text"/>
PASSWORD	<input type="password"/>
PASSWORD CONFIRM	<input type="password"/>
FIRST NAME	<input type="text"/>
LAST NAME	<input type="text"/>
SECURITY QUESTION	My first phone number. ▼
ANSWER	<input type="text"/>
CONFIRM YOU'RE HUMAN	<p>7+8=</p> <p>New Captcha</p> <p><input type="text"/></p> <p>Solve the problem above.</p>

Submit Reset

Already have an account? [Click here to login.](#)

- ③ ドメイン名を作成し、[Request Domain (ドメインの要求)]をクリックします。

Domain Name Creation
Enter a new domain name below.

You must create a domain name to continue.

Domain name must start with (a-z, 0-9), must be least 3 char!. Cannot end or start, but may contain a hyphen and is not case-sensitive.

.dvrdydns.com ▼ Request Domain

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報がリストに表示されます。

My Domains
Your domain names are listed below. Choose create new domain to add additional domain names.

Your domain was successfully created.

Search by Domain. Search

Click a name to edit your domain settings.

NAME	STATUS	DOMAIN
HTC1234	✓	htc1234.dvrdydns.com

Last Update: *Not yet updated* IP Address: 203.141.138.227

Create additional domain names

[1]

- ⑤ DDNS 設定を開きます。DDNS を有効にし、DDNS タイプは www.dvrdydns.com を選択します。登録したユーザー名、パスワード、ドメイン名を入力し、[保存]をクリックします。

ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効													
サーバタイプ	dvrdydns ▼												
ユーザー名	<input type="text"/>												
パスワード	<input type="password"/>												
ドメイン	<input type="text"/>												
<input type="button" value="保存"/>													

- ⑥ ルータの IP アドレスと HTTP ポートをマッピングします。（UPnP 機能が有効になっている場合は、この手順をスキップできます）
- ⑦ IE アドレスバーに <http://www.xxx.dvrdydns.com:81> のような登録済みのドメイン名と HTTP ポートを入力し、入力キーを押して IE クライアントに進みます。

5-5-6 SNMP

SNMP を設定します。

SNMP 機能は、カメラのステータスやパラメータ、アラーム情報を取得し、カメラをリモートで管理できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS **SNMP** 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS

SNMP v1/v2

☐ SNMPv1を有効にする

☐ SNMPv2を有効にする

読み込み専用コミュニティ名 public

書き込み専用コミュニティ名 private

トラップアドレス 192.168.226.201

トラップポート 162

トラップグループ名 public

SNMP v3

☐ SNMPv3を有効にする

ユーザー名のリード public

セキュリティレベル auth, priv ▼

認証アルゴリズム ☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム ☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

ユーザー名を書く private

セキュリティレベル auth, priv ▼

認証アルゴリズム ☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム ☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

SNMPその他の設定

SNMPポート 161

保存

➤ SNMP v1/v2

[SNMPv1 を有効にする][SNMPv2 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
読み込み専用コミュニティ名	<input type="text" value="public"/>
書き込み専用コミュニティ名	<input type="text" value="private"/>
トラップアドレス	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>

表示	説明
読み込み専用コミュニティ名	Read-only。SNMP による読み取り専用のコミュニティ名を入力します。
書き込み専用コミュニティ名	Read-write。SNMP による読み書き専用のコミュニティ名を入力します。
トラップアドレス	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ名	トラップのコミュニティ名を入力します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP v3

[SNMPv3 を有効にする]にチェックを入れ、SNMPv3 を有効にします。

SNMP v3

☒ SNMPv3を有効にする

ユーザー名のリード

public

セキュリティレベル

auth, priv

認証アルゴリズム

☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

.....

秘密鍵アルゴリズム

☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

.....

ユーザー名を書く

private

セキュリティレベル

auth, priv

認証アルゴリズム

☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

.....

秘密鍵アルゴリズム

☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

.....

表示	説明
ユーザー名のリード	SNMP による読み取り専用のユーザー名を入力します。
ユーザー名を書く	SNMP による読み書き専用のユーザー名を入力します。
セキュリティレベル	ユーザー認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。 <ul style="list-style-type: none">・ auth, priv : 認証アリゴリズムで認証。暗号化あり。・ auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。・ no auth, no priv : ユーザー名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。
保存	設定を保存します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、保存をクリックします。

SNMPその他の設定

SNMPポート

161

保存

5-5-7 802.1X

802.1X を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定													
ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	QoS
<input checked="" type="checkbox"/> 有効													
プロトコルタイプ	EAP MD5 ▼												
EAPOLバージョン	1 ▼												
ユーザー名	<input type="text"/>												
パスワード	<input type="password"/>												
パスワード確認	<input type="password"/>												
<input type="button" value="保存"/>													

802.1X の設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、802.1X 認証を有効にします。
- ② プロトコルタイプと EAPOL バージョンは、デフォルト設定でご使用ください。
- ③ ユーザー名とパスワードは、認証サーバに登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。

5-5-8 RTSP

RTSP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定			
ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS			
<input checked="" type="checkbox"/> 有効			
ポート	<input type="text" value="554"/>		
アドレス	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile1"/>		
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile2"/>		
	<input type="text" value="rtsp://IP or domain name:port/profile3"/>		
マルチキャストアドレス			
第1ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第2ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.1"/>	<input type="text" value="51554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第3ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.2"/>	<input type="text" value="52554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
音声	<input type="text" value="239.0.0.3"/>	<input type="text" value="53554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
<input type="checkbox"/> 匿名ログイン許可 (ユーザー名およびパスワード不要)			
<input type="button" value="保存"/>			

[有効]にチェックを入れ、RTSP を有効にします。

- ポート : 「5-5-2」の RTSP ポートと連動しています。
- アドレス : VLC プレーヤーなどで再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。

【例】RTSP アドレス (ユニキャスト) 。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3

- マルチキャストアドレス : マルチキャストアドレス、ポート番号を設定します。

【例】RTSP アドレス (マルチキャスト) 。IP アドレスが 192.168.1.226 の場合。

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile1?transportmode=mcast

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile2?transportmode=mcast

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.1.226:554/profile3?transportmode=mcast

カメラ起動時に、自動的に配信開始したい場合は、[自動スタート]をチェックします。

[匿名ログインを許可する (ユーザー名またはパスワードは不要)] に、チェックを入れると RTSP 認証を省いて再生できます。

5-5-9 RTMP

RTMP を設定します。YouTube 配信に使用します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP **RTMP** UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS

☒ 有効 (H264のみをサポート)

ストリーム形式 ☒ 第1ストリーム ☐ 第2ストリーム ☐ 第3ストリーム

タイムアウト後に再接続する 秒

サーバアドレス

接続状態 接続されていません 更新

保存

[有効]にチェックを入れ、RTMP を有効にします。

表示	説明
ストリーム形式	YouTube 配信で使用するストリームを選択します。※ 1、※ 2
タイムアウト後に再接続する	設定した時間以内なら再接続します。
サーバアドレス	YouTube Studio でメモしたストリーム URL/ストリームキーを貼付けます。 例：rtmp://a.rtmp.youtube.com/live2/abcd-efgh-ijkl-mnop-qrst
接続状態	接続完了の表示になれば YouTube との接続は完了しています。
保存	設定を保存します。

※1:ストリーム設定は「5-2-2 ビデオ/音声」で設定します。通信回線の速度に応じて、最適な設定を行います。
ビデオ圧縮は必ず、「H.264」を設定する必要があります。

※2:お使いのインターネット接続で安定して映像を転送できる品質に設定します。実際に配信する動きや音声でテストを行う必要があります。設定した解像度、フレームレート、ビットレートは YouTube が自動的に検出します。

5-5-10 UPnP

UPnP 機能はポートマッピングなしのルータ経由で WAN に接続され、IE からカメラにアクセスできます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定													
ポート	サーバー	ONVIF	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	RTMP	UPnP	Email	FTP	HTTP POST	HTTPS	QoS
<input type="checkbox"/> 有効													
UPnP名		<input type="text"/>											
<input type="button" value="保存"/>													

UPnP の設定方法

- ① ルータが UPnP 機能に対応し、ルータで有効になっていることを確認します。
- ② ルータに対応するカメラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。
- ③ 有効にチェックを入れ、UPnP 機能を有効にします。この機能を有効にすると、LAN 経由でカメラにすばやくアクセスすることができます。
- ④ UPnP 名を入力して、保存をクリックします。

5-5-11 Email

Email に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP **Email** FTP HTTP POST HTTPS QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名 ☐ 匿名ログイン

パスワード

サーバアドレス

安全な接続 ▼

SMTPポート

☐ 送信間隔(S) (10-3600)

受信者

受信者アドレス

➤ 送信者

送信者の E メールアドレス、SMTP サーバなどを設定します。

送信者	
送信者アドレス	<input type="text" value="██████@gmail.com"/>
ユーザー名	<input type="text" value="██████@gmail.com"/>
パスワード	<input type="password" value="●●●●●"/>
サーバアドレス	<input type="text" value="smtp.gmail.com"/>
安全な接続	<input type="text" value="SSL"/> ▼
SMTPポート	<input type="text" value="465"/> <input type="button" value="デフォルト"/>
<input type="checkbox"/> 送信間隔(S)	<input type="text" value="60"/> (10-3600)
<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="テスト"/>	

送信者の設定方法

- ① 送信者の E メールアドレスを入力します。
- ② ユーザー名はアカウント名(メールアドレスの@より前の部分)、パスワードはメールのパスワードを入力します。
- ③ サーバアドレスは SMTP サーバを入力します。
- ④ セキュリティは SSL を選択し、SMTP ポートは 465 を指定します。 で初期値に戻ります。
- ⑤ E メールを送信間隔を設定します。
送信間隔にチェックを入れ 300 秒に設定した場合、300 秒に 1 通のメールが送信されます。300 秒の間に複数検出された場合、検出時間などをまとめて 1 通で通知します。添付ファイルの静止画は最初に検出した静止画のみを添付します。
- ⑥ をクリックして、アカウントの接続テストを行います。

注 1 Yahoo や Gmail 等のフリーメールはご利用いただけません。ISP が提供するメールサービスをお使いください。

➤ 受信者

[受信者アドレス]欄に受信者のメールアドレスを入力し、**追加** をクリックしてリストに追加します。
場合は、リストから削除するアドレスを選択し、**削除** をクリックしてリストから削除します。

削除する

The screenshot shows a window titled "受信者" (Receiver). Inside, there is a list of email addresses: "@hytec.co.jp", "@yahoo.co.jp", and "@gmail.com". The first address is highlighted in blue. Below the list, there is a text input field labeled "受信者アドレス" (Receiver Address). To the right of the input field are two buttons: "追加" (Add) and "削除" (Delete).

5-5-12 FTP

FTP サーバの設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email **FTP** HTTP POST HTTPS QoS

サーバ名	サーバアドレス	ポート	ユーザー名	パス
FTP_TEST	192.168.XXX.XXX	21	ftp_user	/

追加 変更 削除 テスト

保存

➤ FTP 追加/変更

FTP サーバを追加するには、**追加** をクリックします。変更する場合は、**変更** をクリックします。

FTPを追加

サーバ名

サーバアドレス

パス

ポート

ユーザー名

パスワード

例:/Dir/folder

21

☐ 匿名

OK

キャンセル

表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
パス	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザー名/パスワード	FTP サーバのユーザー名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザー名とパスワードの入力を省きます。
OK	設定を保存します。

➤ テスト

テスト をクリックすると、選択している FTP サーバとの接続確認を行います。

➤ FTP 削除

削除 をクリックすると、選択している FTP サーバを削除します。

5-5-13 HTTP POST

HTTP POST を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP **HTTP POST** HTTPS QoS

☒ 有効

プロトコルタイプ API ▼

サーバアドレス . . .

サーバポート 8082

ハートビート間隔 90 秒

オンライン状態 オフライン 更新

保存

[有効]にチェックを入れ、HTTP POST を有効にします。

表示	説明
プロトコルタイプ	API 固定
サーバアドレス	HTTP POST サーバの IP アドレスを入力します。
サーバポート	HTTP POST サーバのポート番号を入力します。
ハートビート間隔	HTTP POST サーバの稼働状態を確認する間隔を設定します。
オンライン状態	HTTP POST サーバの接続状態を表示します。
保存	設定を保存します。

5-5-14 HTTPS

HTTPS を設定します。HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザーのプライバシーを保護します。

有効にチェックを入れて、HTTPS へのアクセスを有効にし、**保存** をクリックして設定を保存します。

Web ブラウザを使用して、「https://IP アドレス:HTTPS ポート」にアクセスします。

《 例 : https://192.168.226.201:443 》

デフォルトで証明書がインストールされています。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、**削除** をクリックして証明書を削除し、プライベート証明書を作成することもできます。

インストールタイプを選択して、各タイプで設定してください。

- 証明書に署名して、直接インストールしてください

[参照…]ボタンをクリックして、インストールする証明書ファイルを選択してから、[インストール]ボタンをクリックして証明書をインストールします。

最後に[保存]ボタンをクリックします。

- プライベート証明書を作成する

[作成]ボタンをクリックして、プライベート証明書を作成します。国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、有効期限、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。「*」は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。最後に[保存]ボタンをクリックします。

➤ 証明書要求の作成

[作成]をクリックして証明書要求を作成します。

国(2文字のみ利用可能)、ドメイン(NVRのIPアドレス/ドメイン)、パスワード、州(都道府県)、領域(地域)などを入力します。「*」は、必須項目です。次に、[OK]をクリックして設定を保存します。

そうすると、[ダウンロード]ボタンがアクティブになりますので、クリックして、証明書要求ファイルをダウンロードし、署名のために信頼された証明機関に送信します。署名された証明書を受け取った後、証明書をデバイスにインポートします。上述の[証明書に署名して、直接インストールしてください]項で証明書をインストールしてください。

また、[削除]をクリックして、作成した証明書要求ファイルを削除できます。

5-5-15 QoS

データストリームの転送に優先順位を付けることが出来ます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS **QoS**

ビデオ/オーディオDSCP

0

アラームDSCP

0

マネージャDSCP

0

保存

ネットワーク遅延やネットワーク混雑を改善するために、それぞれのストリームに優先度を設定し、順番に転送を行います。
数値が大きいほど、優先度は高くなります。

表示	説明
ビデオ/オーディオ DSCP	0 ～63 の範囲でビデオ/オーディオの優先度を設定します。
アラーム DSCP	0 ～63 の範囲でアラームの優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0 ～63 の範囲でマネージャの優先度を設定します。
保存	設定を保存します。

5-5-16 TS Multicast

トランスポートストリームマルチキャスト(TS Multicast)を利用することで、複数のユーザーが映像を視聴できます。十分な帯域幅がない場合でも同時に実行できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS **TS Multicast**

⚠ MJPEG形式のビデオストリームはTSマルチキャスト経由で送信できません!

⚠ 送信内容は暗号化されません。

第1ストリーム	マルチキャストアドレス	<input type="text" value="239.1.0.0"/>	<input type="text" value="2000"/>	<input type="checkbox"/> 音声	<input type="checkbox"/> 有効
第2ストリーム	マルチキャストアドレス	<input type="text" value="239.1.0.1"/>	<input type="text" value="2001"/>	<input type="checkbox"/> 音声	<input type="checkbox"/> 有効
第3ストリーム	マルチキャストアドレス	<input type="text" value="239.1.0.2"/>	<input type="text" value="2002"/>	<input type="checkbox"/> 音声	<input type="checkbox"/> 有効

保存

オーディオ：

「有効」にチェックを入れると「音声」の有無が選択出来るようになります。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバー ONVIF DDNS SNMP 802.1X RTSP RTMP UPnP Email FTP HTTP POST HTTPS QoS **TS Multicast**

⚠ MJPEG形式のビデオストリームはTSマルチキャスト経由で送信できません!

⚠ 送信内容は暗号化されません。

第1ストリーム	マルチキャストアドレス	<input type="text" value="239.1.0.0"/>	<input type="text" value="2000"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 音声	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
第2ストリーム	マルチキャストアドレス	<input type="text" value="239.1.0.1"/>	<input type="text" value="2001"/>	<input type="checkbox"/> 音声	<input type="checkbox"/> 有効
第3ストリーム	マルチキャストアドレス	<input type="text" value="239.1.0.2"/>	<input type="text" value="2002"/>	<input type="checkbox"/> 音声	<input type="checkbox"/> 有効

保存

5-6 セキュリティ

ユーザー、オンラインユーザー、ブロックと許可リスト、セキュリティ管理などのサブメニューがあります。

システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ セキュリティ設定
画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整	セキュリティ設定 <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザー ユーザーの追加、修正、削除します。(管理者アカウント: adminは削除できません。) ● オンラインユーザー オンラインのユーザーを表示します。 ● ブロックと許可リスト 特定のIPアドレスまたはMACアドレスからのアクセスを許可またはブロックします。 ● セキュリティ管理 不正ログインを検出した時にデバイスをロックします。
アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ	
イベント設定 物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ	
ネットワーク設定 TCP/IP ポート 追加...	
セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理	
メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

5-6-1 ユーザー

ユーザーの追加、変更、削除を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ユーザー			
<div>追加</div> <div>変更</div> <div>削除</div>			
Index	ユーザー名	ユーザー区分	
1	admin	管理者	

ユーザーの追加方法

- ① **追加** をクリックすると、「ユーザーの追加」がポップアップします。

- ② ユーザー名とパスワード(パスワード確認)は、1～15 文字の英数字で設定します。
- レベルは、パスワードの強度を示します。[5-6-4 セキュリティ管理]にあるパスワードセキュリティで設定したレベル以上の組み合わせが必要です。
- ③ ユーザー区分を選択します。
- ・ 管理者 : すべての権限を持っています。
 - ・ 上位ユーザ : 「ユーザー」、「ブロックと許可リスト」、「バックアップと復元」、「アップグレード」以外、管理者と同じ権限を持っています
 - ・ ノーマルユーザ : 「ライブ」の表示と「検索」のみ可能です。設定の変更はできません。
- ④ リモートで操作できる項目をチェックします。
- ⑤ [OK]をクリックして、追加します。

上位ユーザとノーマルユーザの初期権限

システム設定	基本情報		○
	日付と時刻		○
	ローカル設定		○
アラーム設定	モーション検出	検出設定	×
		エリアと感度	○
		スケジュール	○
	異常		○
	アラーム入力		○
	アラーム出力		○
	ネットワーク設定		
セキュリティ設定	ユーザ		○※
	オンラインユーザ		○

※ログイン中ユーザのパスワード変更

ユーザレベルと付与可能な権限

	上位ユーザー	ノーマルユーザー
ストレージ設定	○	×
画像設定（全項目）	○	○
PTZ コントロール	○	○
アラームサーバ設定	○	○
イベント設定	○	○
ネットワーク設定	○	×
セキュリティ設定	○※	×
バックアップと復元	○	×
再起動とアップグレード	○	×
ログ閲覧	○	○
音声インターホン（双方向音声通話）	○	○
プレビュー（ライブ）	○	○
再生（検索）	○	○
ユーザー管理	×	×

※ユーザー編集を除く、セキュリティメニュー

パスワードの変更方法

- ① **変更** をクリックすると、「ユーザーの編集」がポップアップします。

- ② [新しいパスワード]にチェックを入れ、新しいパスワードを入力し、OK をクリックします。
- レベルは、パスワードの強度を示します。[5-6-4 セキュリティ管理]にあるパスワードセキュリティで設定したレベル以上の組み合わせが必要です。
- ③ リモートで操作できる項目を変更します。
- ④ [OK]をクリックして保存します。

ユーザーの削除方法

- ① 削除するユーザーを選択します。選択されているユーザーは青くなります。
- ② **削除** をクリックすると、削除の確認がポップアップするので OK をクリックして削除します。

5-6-2 オンラインユーザ

本機にアクセスしているオンラインユーザを表示します。
管理者ユーザは、他のすべてのユーザを追い出す(キックアウト)ことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ オンラインユーザー

Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザー区分	
1	172.20.0.98	51873	admin	管理者	キックアウト

5-6-3 ブロックと許可リスト

特定の IP アドレスからのアクセスを許可またはブロックします。

[アドレスフィルタリングを有効にする]にチェックを入れ、許可/ブロックの設定を行います。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ブロックと許可リスト

IPアドレスフィルター設定

☒ アドレスフィルタリングを有効にする

☒ 次のアドレスをブロックします ☐ 次のアドレスを許可します。

追加

削除

0.0.0.0 ☒ IPv4 ☐ IPv6

保存

IP/MAC アドレスフィルタの追加方法

- ① [次のアドレスをブロックします]または[次のアドレスを許可します]のどちらかを選択します。
 - ・ ブロック：リスト内のみブロックし、その他のデバイスは許可されます。
 - ・ 許可：リスト内のみ許可し、その他のデバイスはブロックされます。
- ② IPv4 または IPv6 を選択し、アドレスを入力します。
- ③ **追加** をクリックすると、リストに表示されます。
- ④ **保存** をクリックして保存します。

IP/MAC アドレスフィルタの削除方法

- ① リストからアドレスを選択します。
- ② **削除** をクリックすると、選択しているアドレスを削除します。
- ③ **保存** をクリックして保存します。

5-6-4 セキュリティ管理

不正ログインを検出した時の対応を設定します。

➤ セキュリティサービス

[セキュリティサービス]タブを開き、不正ログインによるロック解除を防ぐことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理

セキュリティサービス パスワードセキュリティ 認証する

☒ 不正ログインによるロックを有効

☐ メールを送信

ログアウト時間 秒

保存

[不正ログインによるロックを有効]にチェックを入れると、ログイン試行に 6 回失敗するとロックされます。

ロックから 30 分後またはカメラの再起動によって、カメラは再度ログインすることができます。

[メールを送信]にチェックを入れると、通知をメールで受け取れます。送信先をチェックして選択します。

メールの送信先の設定は、「5-5-11」で登録します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理

セキュリティサービス パスワードセキュリティ 認証する

☒ 不正ログインによるロックを有効

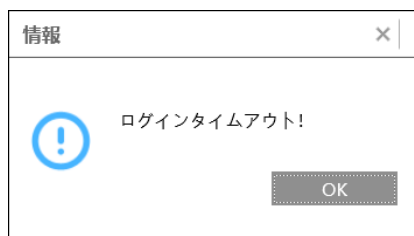
☒ メールを送信

メールの送信先

ログアウト時間 秒

保存

[ログアウト時間]で設定した時間が経過すると（Web ブラウザなどで設定時間操作されない場合）、自動的にログアウトされます。次に操作するまで画面はそのままですが、操作しようすると、タイムアウトメッセージをポップアウトで表示して、ログインウィンドウに移動しますので、再度ログインしてください。



➤ パスワードセキュリティ

[パスワードセキュリティ]タブを開き、パスワードのレベルと有効期限を設定します。

パスワードレベルは、パスワード変更で利用できる文字の種類と長さを設定します。

- 弱い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 1 文字以上
- 中 : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 2 種類以上を組合わせて 9 文字以上
- 強い : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」の全種類を組合わせて 9 文字以上

有効期限 : 30 日、60 日、180 日、365 日、永久から選択します。

期限が切れるとパスワードの変更画面がポップアップします。

➤ 認証する

HTTP でアクセスする時の、認証方法を設定します。

認証方法は、“Basic”と“Token”から選択します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティー管理		
セキュリティーサービス	パスワードセキュリティ	認証する
HTTP認証	Basic ▼	
		保存

設定ホーム ▶ セキュリティ ▶ 安全管理	
安全サービス	
<input checked="" type="checkbox"/> 不正ログインすると、ロックされます	
保存	

5-7 メンテナンス

バックアップと復元、再起動、アップグレード、操作ログなどのサブメニューがあります。

<div> システム設定</div> <div>基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</div>	設定ホーム ▶ メンテナンス
<div> 画像設定</div> <div>画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI構成 レンズの調整</div>	<div>メンテナンス</div> <div><div> バックアップと復元</div>システム構成のバックアップ/復元、または工場出荷設定へのリセットを行います。</div> <div><div> 再起動</div>カメラを再起動します。</div> <div><div> アップグレード</div>カメラのソフトウェアを更新します。</div> <div><div> 操作ログ</div>操作ログを表示します。</div>
<div> アラーム設定</div> <div>モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</div>	
<div> イベント設定</div> <div>物体検知 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント 地域統計 エリア侵入検知 顔検出 ヒートマップ</div>	
<div> ネットワーク設定</div> <div>TCP/IP ポート 追加...</div>	
<div> セキュリティ設定</div> <div>ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理</div>	
<div> メンテナンス</div> <div>バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</div>	

5-7-1 バックアップと復元

カメラの設定情報のインポート（復元）とエクスポート（バックアップ）、工場出荷時への初期化を行います。

➤ 設定のインポート（復元）

参照をクリックして、バックアップファイルを選択します。 **設定のインポート** をクリックして、設定を復元します。

➤ 設定のエクスポート（バックアップ）

設定のエクスポート をクリックして、設定をバックアップします。

➤ 設定を初期化する

工場出荷設定に戻す をクリックして、設定を初期状態に戻します。

「設定を保持」で選択した設定項目は、初期化されず、現在の設定を保持します。

設定を初期化する

設定を保持

☐ ネットワーク設定
☐ セキュリティ設定
☐ 画像設定

工場出荷設定に戻す

5-7-2 再起動

カメラの再起動を行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 再起動

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動するとブラウザは自動的に再接続します。

定刻自動再起動

☐ 時刻の設定

保存

➤ 再起動

再起動 をクリックすると、パスワード入力画面がポップアップします。パスワードを入力するとカメラは再起動を行います。再起動には 1～5 分かかります。正常に完了すると、自動的に再接続、ログイン画面に戻ります。

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動すると、ブラウザは自動的に再接続します。

➤ 定刻自動再起動

定期的に再起動を行います。

[時刻の設定]にチェックを入れると、自動的な再起動が有効になります。毎日または週に一度、決まった時間を指定します。

定刻自動再起動

☒ 時刻の設定

週

毎日 ▼

時間


15:07

保存

5-7-3 アップグレード

カメラのソフトウェアを更新します。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ アップグレード

 現在のバージョンから以前のバージョンへのダウングレードを許可しないでください。
アップグレード中は電源を切らないでください。

ローカルアップグレード

パス

保存先変更 アップグレード

ソフトウェアのアップグレード方法

- ① [保存先変更]をクリックして、アップグレードファイルを選択します。
- ② **アップグレード** をクリックして、ソフトウェアのアップグレードを開始します。
- ③ アップグレード終了後、カメラは自動的に再起動します。

※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。

※ アップグレード中は監視などの機能は動作しません。

5-7-4 操作ログ

ログの種類を選択、開始時間と終了時間を指定、**検索** をクリックすると、ログが表示されます。

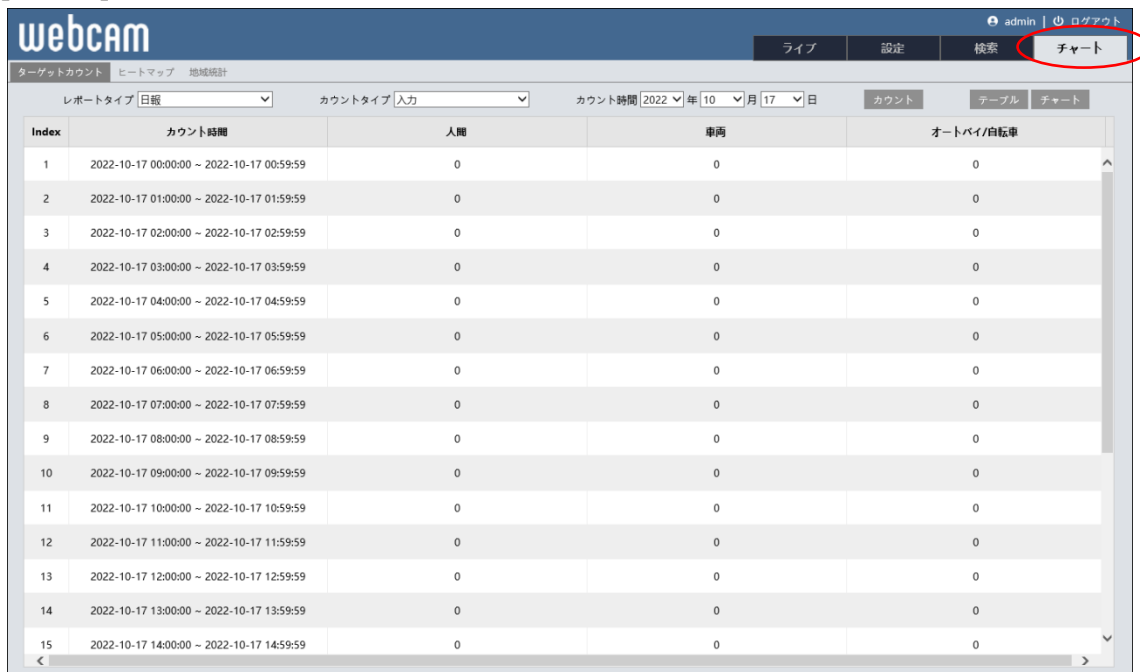
設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ						
第一区分	すべてのログ	第二区分	すべてのログ			
開始時間	2022-10-11 00:00:00	終了時間	2022-10-11 23:59:59	検索	エクスポート	
Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP	ホスト名
1	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
2	2022-10-11 06:47:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
3	2022-10-11 06:47:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
4	2022-10-11 06:46:...	情報	システム起動			
5	2022-10-11 06:46:...	操作	システム設定変更			
6	2022-10-11 06:46:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
7	2022-10-11 06:46:...	操作	リブート	admin	192.168.226.189	
8	2022-10-11 05:35:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
9	2022-10-11 05:34:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
10	2022-10-11 05:34:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
11	2022-10-11 05:33:...	操作	ログアウト	admin	192.168.226.189	
12	2022-10-11 05:32:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
13	2022-10-11 05:21:...	操作	セキュアな設定変更	admin	192.168.226.189	
14	2022-10-11 05:20:...	操作	システム設定変更	admin	192.168.226.189	
15	2022-10-11 05:20:...	操作	ログイン	admin	192.168.226.189	
16	2022-10-11 05:20:...	操作	ログアウト		192.168.226.189	
				1 / 3	20	View 1 - 20 of 46

ログの取得方法

- ① 第一区分、第二区分より、取得するログの種類を選択します。
- ② 開始時間と終了時間を設定し、検索するログの時間帯を指定します。
- ③ **検索** をクリックすると、指定時間内のログを表示します。
- ④ **エクスポート** をクリックして、ログをエクスポート・保存することができます。

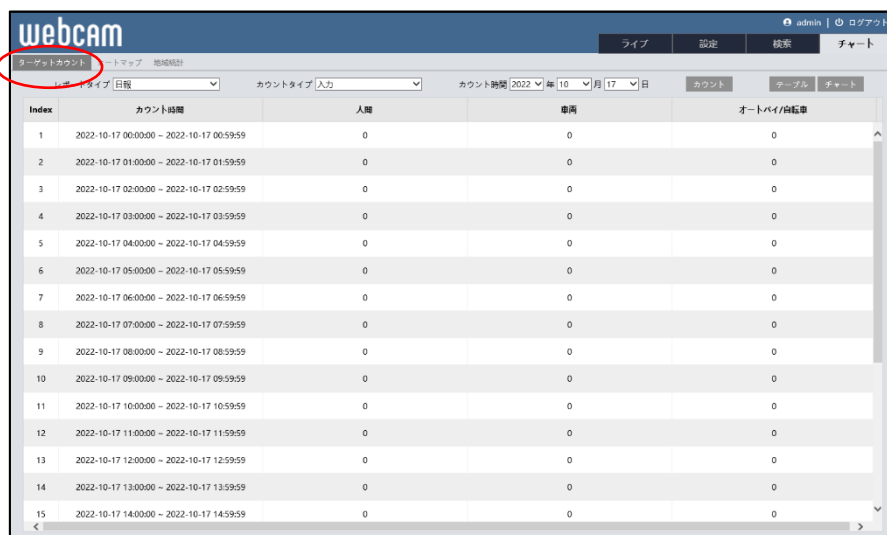
6.チャート

右上の[チャート]タブを開きます。



6-1 ターゲットカウント

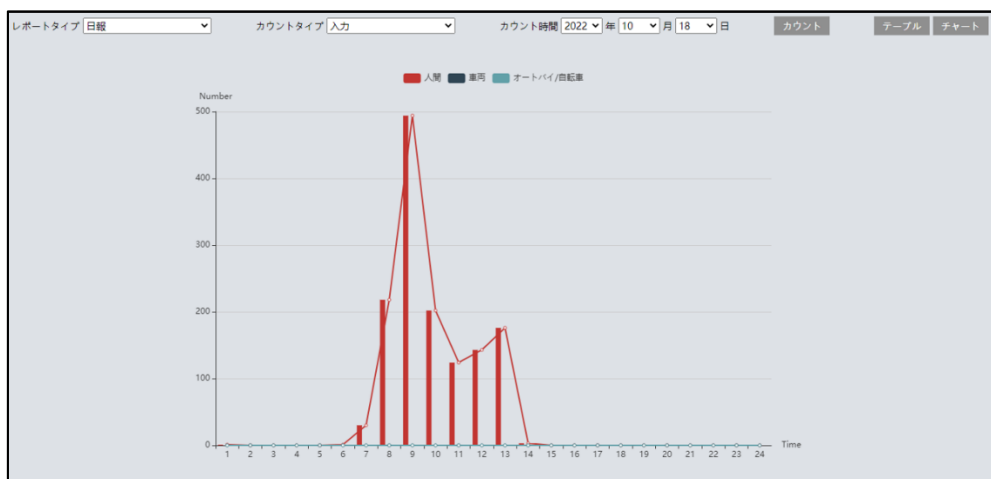
左上のタブから[ターゲットカウント]タブを選択します。



表示	説明
レポートタイプ	レポートする単位を設定します。 日報:1 日を時間単位で表示 週報:1 週間を曜日単位で表示 月報:1 月を日単位で表示 年報:1 年を月単位で表示
カウントタイプ	“入力（入る）”と“置き去り（出る）”を選択します。
カウント時間	ターゲットカウントの開始日時を設定します。
カウント	設定したレポートタイプやカウントタイプ、日時で再計算します。
テーブル	表形式で表示します。
チャート	図形式で表示します。

図の表示方法

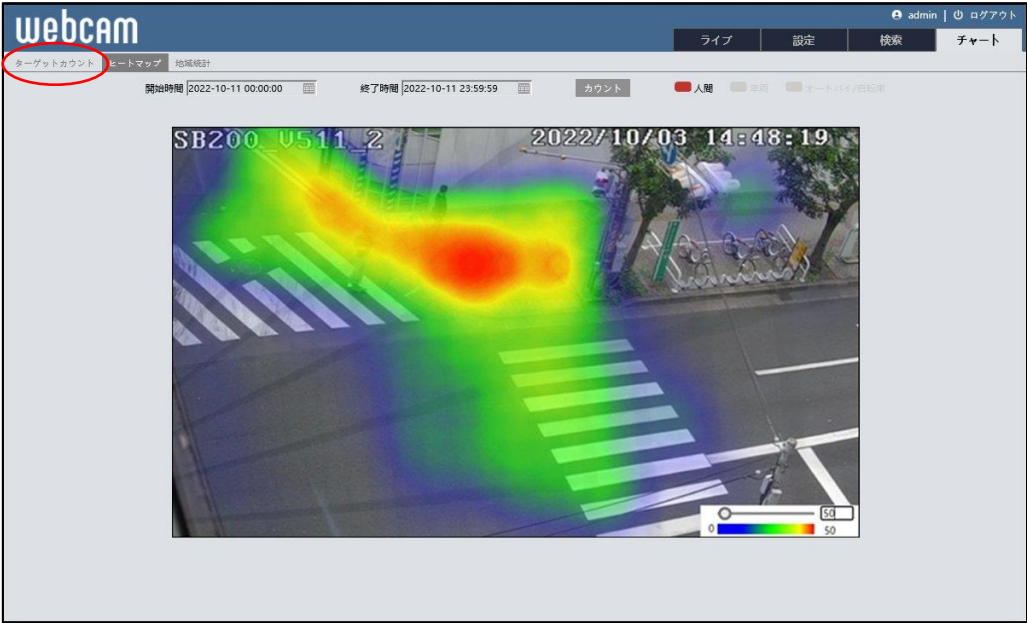
- ① [レポートタイプ]を選択します。
- ② [カウントタイプ]を選択します。
- ③ [カウント時間]で、カウントを開始する日時を設定します。
- ④ [カウント]ボタンをクリックして計算します。
- ⑤ [テーブル]または[チャート]をクリックすると表または図を表示します。



図の上部の[人間]、[車両]、[オートバイ/自転車]をクリックすることで表示・非表示を変更できます。

6-2 ヒートマップ

左上のタブから[ヒートマップ]タブを選択します。人間/車両/オートバイ・自転車を検知した場所が色付きで表示されます。



表示	説明
開始時間	ヒートマップの開始時間を設定します。
終了時間	ヒートマップの終了時間を設定します。
カウント <input type="button" value="カウント"/>	クリックすると設定した日時で再計算します。
種別	人間、車両、オートバイ・自転車から選択してください。
感度 <input type="range" value="100"/>	表示する感度を設定します。

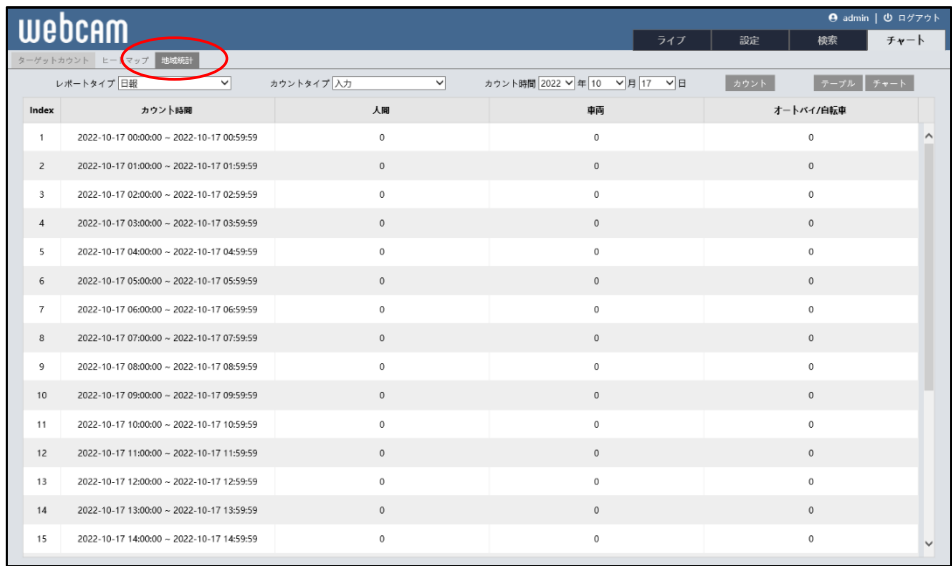
操作方法

- ① [開始時間]を設定します。
- ② [終了時間]を設定します。
- ③ [カウント]をクリックして、再計算及び画面表示を変更します。
- ④ [人間]、[車両]、[オートバイ/自転車]をクリックすると、各項目のヒートマップを選択できます。
- ⑤ 右下の[感度]のスライダを左右に動かす。または数値を手動で入力して表示する下限を変更します。



6-3 地域統計

左上のタブから[地域統計]タブを選択します。

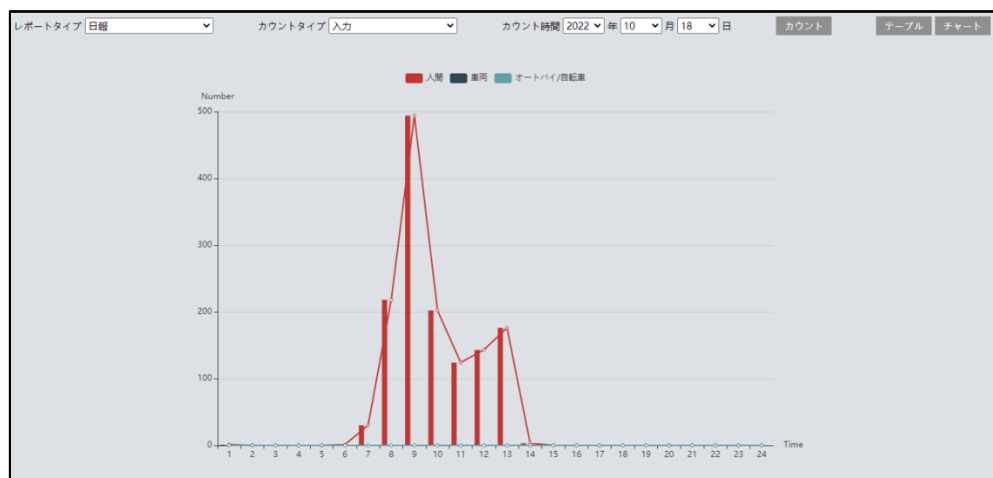


表示	説明
レポートタイプ	レポートする単位を設定します。 日報: 1 日を時間単位で表示 週報: 1 週間を曜日単位で表示 月報: 1 月を日単位で表示 年報: 1 年を月単位で表示
カウントタイプ	“入力（入る）”と“置き去り（出る）”を選択できます。
カウント時間	地域統計の開始日時を設定します。
カウント	<div>カウント</div> 設定したレポートタイプやカウントタイプ、日時で再計算します。
テーブル	<div>テーブル</div> 表形式で表示します。
チャート	<div>チャート</div> 図形式で表示します。

図の表示方法

- ① [レポートタイプ]を選択します。
- ② [カウントタイプ]を選択します。
- ③ [カウント時間]で、カウントを開始する日時を設定します。
- ④ [カウント]ボタンをクリックして計算します。

- ⑤ [テーブル]または[チャート]をクリックすると表または図を表示します。

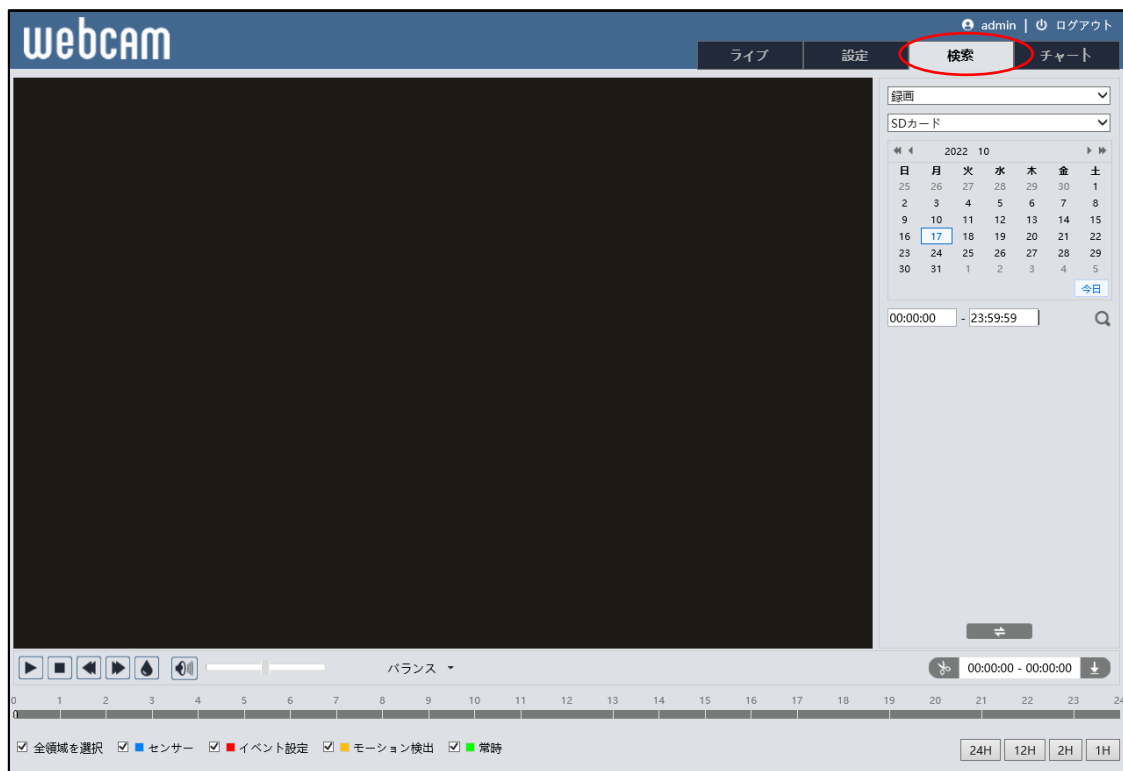


図の上部の[人間]、[車両]、[オートバイ/自転車]をクリックすることで表示・非表示を変更できます。

7. 検索

右上の[検索]タブを開きます。

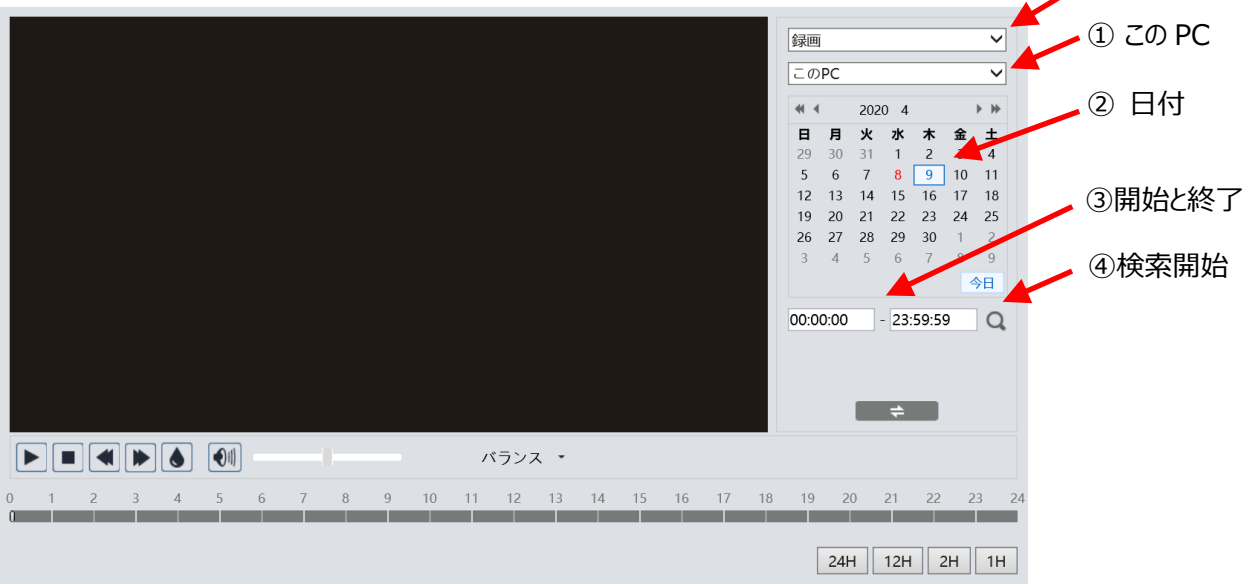
ここでは、SD カードまたはローカル PC に保存されている録画と写真を表示できます。





7-1 録画検索

7-1-1 ローカル録画（動画）

PC にローカル録画されているビデオは、ここで再生することができます。

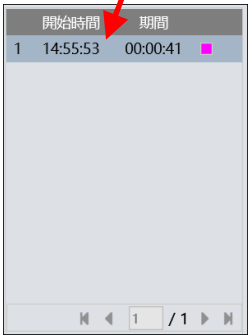


検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 検索時間と終了時間を設定します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する録画ファイルリスト内をダブルクリックすると再生を開始します。
- ⑥  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑦ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
(録画あり：ピンクの帯で表示しています)

録画検索画面のアイコンを説明します。

ダブルクリックで再生開始

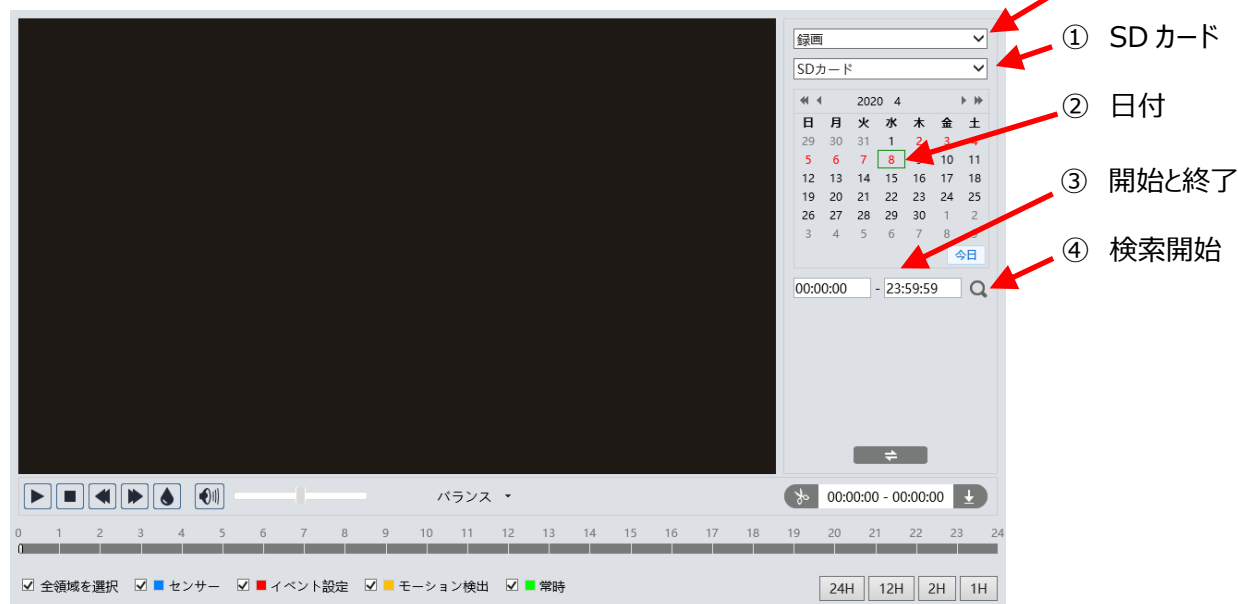


検索後に表示する録画
ファイルリスト



アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止ボタン		停止ボタン
	スピードダウン		スピードアップ
	電子透かし表示		スピーカ ON/OFF

7-1-2 SD カード録画（動画）

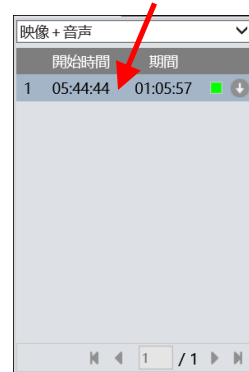
SD カードに録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“録画”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※録画データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ⑤ ミックスストリーム(映像 + 音声)または、ビデオストリーム(映像のみ)を選択します。
- ⑥ 検索後に表示する録画ファイルリスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始します。
- ⑦  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑧ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
センサー(青)、イベント設定(赤)、モーション検出(橙)、常時録画(緑)で色分けされています。

ダブルクリックで再生開始



検索後に表示する録画
ファイルリスト



ビデオクリップとダウンロード

- ① タイムテーブル上をクリックして、開始時間を選択します。
- ② をクリックすると青色 に変わり、開始時間が設定されます。
- ③ 終了時間も①②と同様に行います。
- ④ をクリックして、PC にビデオファイルをダウンロードします。
- ⑤ ダウンロード中は、以下のような画面が表示されます。
 設定：PC の保存ディレクトリを指定 / パス：保存フォルダを開く
 キャンセル：ダウンロードの中止 / ON：ビデオを再生
 リストクリア：ダウンロードリストの削除 / OFF：ダウンロード画面を閉じる

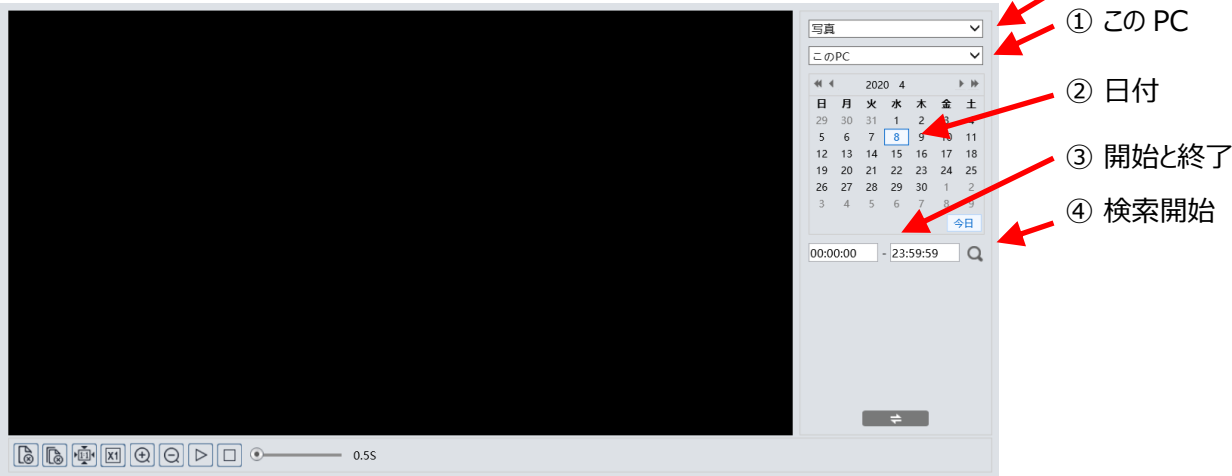
Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	10%	カット	2020-04-08 08:00:00	2020-04-08 08:10:02	NetAllIPCamera	キャンセル
<div> 設定 C:\Program Files\NetAllIPCamera <div>リストクリア OFF</div> </div>						

※ ファイル横の で、イベントごとにダウンロードすることもできます。

7-2 画像検索

7-2-1 ローカル画像（静止画）

PC にローカルで保存されている画像（静止画）は、ここで見ることができます。

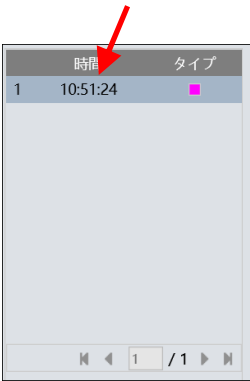


検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“この PC”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④ をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥ をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

画像検索画面のアイコンを説明します。

ダブルクリックで画像を表示

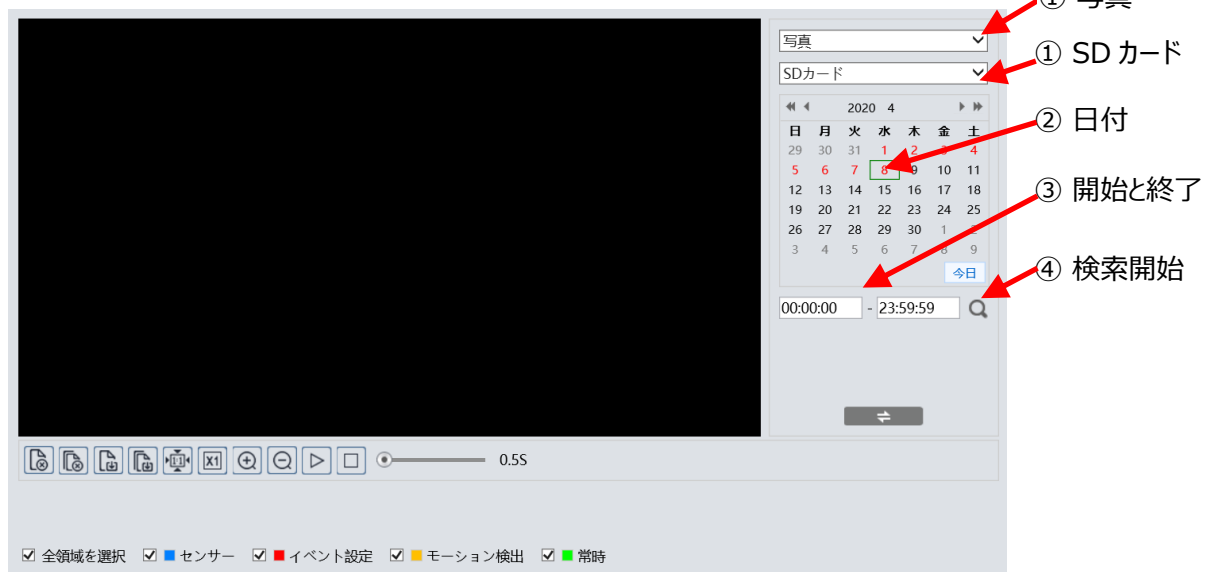


検索後に表示する画像
ファイルリスト



アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		すべての画像を閉じる
	現在の画像を保存		すべての画像を保存
	画面サイズに画像を調節する		実際の画像サイズ
	ズームイン/ズームアウト		スライドショー再生/一時停止
	スライドショー停止		スライドショーの再生速度

7-2-2 SD カード画像（静止画）

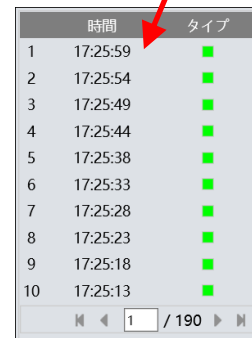
SD カードに保存されている画像（静止画）は、ここで見るすることができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、“写真”-“SD カード”を選択します。
- ② 検索したい日を設定します。
※画像データがある日はカレンダーの数字が赤色になっています。
- ③ 開始時間と終了時間を選択します。
- ④  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ⑤ 検索後に表示する画像ファイルリスト内をダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑥  をクリックすると、検索前と検索後の画面を移動できます。

ダブルクリックで画像を表示



	時間	タイプ
1	17:25:59	■
2	17:25:54	■
3	17:25:49	■
4	17:25:44	■
5	17:25:38	■
6	17:25:33	■
7	17:25:28	■
8	17:25:23	■
9	17:25:18	■
10	17:25:13	■

1 / 190

検索後に表示する画像
ファイルリスト

8. 製品仕様

製品名		HIE-S501 スマート・アナログ→IP エンコーダ
形状		
外部インタフェース		
映像入力	端子	BNC x1 系統
	入力信号	HD-TVI/CVI/AHD 及び CVBS 1.0Vp-p (NTSC/PAL) ※注 1
	アナログ HD	5M/4M/3M/2M/1M
音声		入力：1 系統(LINE)／出力：1 系統
アラーム IN/OUT		入力：8 系統 / 出力：4 系統 ※無電圧接点制御
SD カードスロット		Micro SD/SDHC/SDXC (256GB サポート)
USB		USB2.0 x1
イーサネット		RJ-45(10/100Base-T)
DC 入力コネクタ		+12V
DC 出力		+12V (最大 700mA)
映像・音声エンコード		
画像圧縮方式		H.265+/H.265/H.264/MJPEG
画像サイズ	アナログ HD	第 1 ストリーム:2592X1944/2560X1440/1920x1080/1280x720 第 2 ストリーム:1280x720/704X480/352x240 第 3 ストリーム:704x480/480x240/352x240
	CVBS	第 1 ストリーム:704x480 第 2 ストリーム:704X480/352x240 第 3 ストリーム:704x480/480x240/352x240
フレームレート		1～30fps
ビットレート制御		CBR/VBR
ビットレート設定範囲	アナログ HD	2592X1944 : 2Mbps～8Mbps@H.264 / 1.5Mbps～7Mbps@H.265 2560X1440 : 2Mbps～8Mbps@H.264 / 1.5Mbps～7Mbps@H.265 1920X1080 : 1Mbps～6Mbps@H.264 / 768Kbps～4Mbps@H.265 1280X720 : 512Kbps～4Mbps@H.264 / 256Kbps～2Mbps@H.265 704X480 : 256Kbps～2Mbps@H.264 / 128Kbps～1Mbps@H.265 352X240 : 128Kbps～1Mbps@H.264 / 64Kbps～768kbps@H.265
	CVBS	704X480 : 256Kbps～2Mbps@H.264 / 128Kbps～1Mbps@H.265 480X240 : 128Kbps～1Mbps@H.264 / 64Kbps～768kbps@H.265 352X240 : 128Kbps～1Mbps@H.264 / 64Kbps～768kbps@H.265
音声圧縮		G711A/μ
ネットワーク機能		
プロトコル		UDP、IPv4、IPv6、DHCP、NTP、RTSP、RTMP、RTP、RTCP、ICMP、IGMP、PPPoE、DDNS、SMTP、FTP、SNMP、HTTP、802.1x、UPnP、HTTPs、QoS
インタフェース規格		ONVIF (PROFILE S)
同時アクセス数		10


その他機能	オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック、Edge/Chrome/FireFox 接続(※注 2)、CMS/VMS 接続、モバイルアプリ接続
画像調整機能	
DNR(ノイズ除去)	OFF/ON(LEVEL0～255)
WDR 機能	120dB OFF/ON(LEVEL 低、中、高)
逆光補正(BLC/HLC)	OFF/BLC(エリア：上/下/左/右/センター)/HLC
画像鮮明化	自動/マニュアル
その他機能	ROI (8 エリア)、プライバシーマスク (4 エリア)、OSD (タイトル表示/時刻表示)、縦モード撮影、画像回転/反転、etc
スマート機能	
基本	モーション検知、妨害検知、異常検出 (ネットワーク接続、IP 競合、SD エラー)
スマート検出	顔検出 (最大 15 人/秒)、人間検出、車両検出
スマートイベント	物体出現・消失、ライン越え、エリア侵入・退出、エリア内活動、ライン通過カウント、エリア内滞留カウント、ヒートマップ
アラーム連係	SD カード録画、SD カード静止画保存、アラーム接点出力、FTP アップロード、E メール通知、ローカル録画、ローカル静止画保存
一般	
電源	DC12V(±10%)/ PoE
消費電力	12W(DC12V/900mA)
運用温度	-20℃～60℃ (湿度：0%RH～90%RH)
寸法	W 88×H 28×D 109 mm
防水/防滴構造	—
耐衝撃構造	—
重量	272 g
認定	VCCI ClassA、RoHS

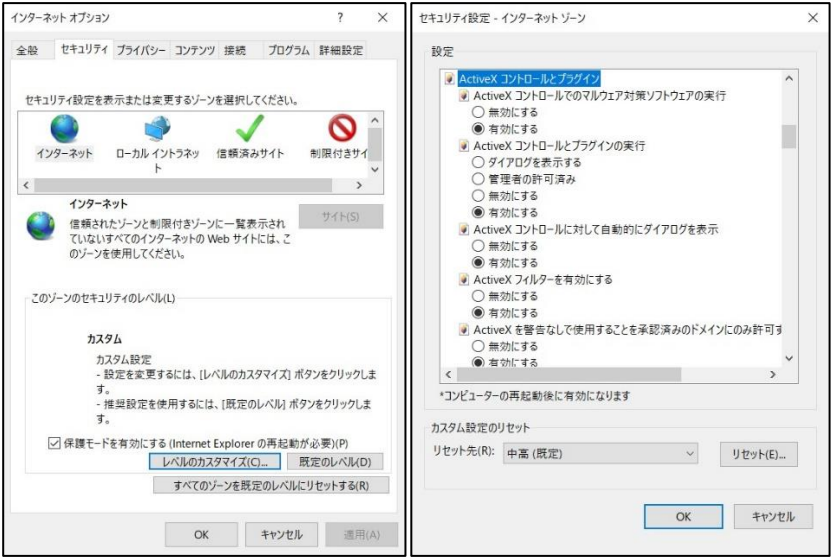
※注 1:CVBS 信号では、エンコードした映像の動きのある部分にギザギザが発生します。これは、CVBS がインターレース方式のためです。本機はデインターレース機能に対応していないため、ギザギザを除去することはできません。

※注 2:Edge/Chrome/FireFox 接続では SD カード録画のダウンロードはできません。Edge の IE 互換モードでの運用を推奨します。

Edge の IE 互換モードでも SD カード録画映像のダウンロードができない場合は、CMS ソフトウェア：HCMS をお使いください。HCMS については、営業担当またはサポート窓口にお問い合わせください。

9. Q&A

質問	回答
パスワードを忘れたときの対処方法は？	リセットボタンを 5 秒間長押ししてデバイスを出荷時の状態に戻します。 出荷時設定 IP アドレス：192.168.226.201 ユーザ名：admin パスワード：123456
IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない	回答 1 ネットワークが正しく接続されていない可能性があります。正しく接続されていることを確認してください。
	回答 2 有効な IP アドレスが設定されていない可能性があります。有効な IP アドレスを設定してください。
	回答 3 WEB ポート番号が改定された可能性があります。管理者に確認して正しいポート番号で再度接続を試みてください。
	回答 4 回答 1 ～ 3 以外の場合、IP-Tool で初期 IP に戻してください。 IP アドレス：192.168.226.201 サブネットマスク：255.255.255.0 ゲートウェイ：192.168.226.1 WEB ポート：80
IP-Tool でデバイスを見つけれない	コンピュータのウィルス対策ソフトウェアが原因の場合があります。ウィルス対策ソフトウェアを終了して、再度デバイス検索してください。
IE が ActiveX コントロールをダウンロードできません。どうしたらよいですか？	<p>回答 1</p> <p>IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のように試してください。</p> <div data-bbox="493 1520 809 1865" data-label="Image"> </div> <p>① IE ブラウザを開きます。右上のツール  → インターネットオプションをクリックします。</p> <p>② “セキュリティ”タブの「レベルのカスタマイズ」を選択します。（左図）「ActiveX コントロールとプラグイン」の下にある、すべてのサブオプションを有効にします。（右</p>

	<div>図)</div> <div></div> <div>③ 「OK」をクリックして、設定を終了します。</div>
	<div>回答 2</div> <div>他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。</div>
ActiveX コントロールのインストールに失敗しました。	<div>回答</div> <div>IE ブラウザを閉じて再度インストールを試みてください。</div>
録画した画像やビデオが検索できない。	<div>IE（Internet Explorer）ブラウザは管理者モードで実行している必要があります。</div> <div>管理者モードで実行するには、IE ブラウザのアイコンを右クリックすると“管理者として実行”が表示されるので、“管理者として実行”をクリックして起動してください。IE ブラウザを管理者モードで起動後、本機にアクセスしてください。</div> <div>管理者モードの起動方法は「5-7-3 アップグレード」も参照してください。</div>

10. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

- 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
- 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます。
- 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
- 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間** （弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

<<本体>>ご購入日より **1年間** （お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合は有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマーサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日、年末年始除く）